

エスペラント研究

JARO XVII N-RO 7



GAMAGOORI

REVUO ORIENTA

1936

JAPANA ESPERANTO-INSTITUTO JULIO

言論機關に働きかけよ.....	307
會話會禮讃.....	多羅尾一郎 308
Pri l' moderna arto のもつ意味.....	瑛 九 311
Gösta Berling 物語.....	萬澤まき子 314
坪田一男君を悼む.....	松田周次 317
辻利助氏の憶ひ出.....	米田徳次郎 318
動詞 Fari の用法 (4).....	小坂 狷 二 320
ツル本とザラ本.....	川崎 直 一 322
Plena Gramatiko 紹介 (4).....	岡本 好 次 324
新刊紹介.....	328
Taketori-monogatari.....	五十嵐正巳 331
Kiamaniere malnovaj japanoj antaŭvidis la veteron?.....	田口 龍 雄 333
内外報道.....	336
エスペラント運動後援會報告.....	345
第二回學會特使派遣.....	347

我國に於けるエスペラント普及・研究・實用の中心機關

財團 日本エスペラント學會

法人

東京市本郷區元町一の一三

—【電話小石川(85) 5415 番— 振替口座東京11325番】—

世界エス運動の中心機關萬國エスペラント協會(UEA)に對し我國を
代表する本會に入會され我國のエス運動を援助せられよ

目 的	エスペラントの普及、研究、實用
事 業	(a) エスペラントに關する各種の研究調査及其發表 (b) 雜誌及圖書の刊行及外國エス語書籍の取次 (c) 講演會講習會の開催及後援 (d) 其他本會の目的を達成するに必要な事業
會 費	(a) 普通維持員 年額2圓40錢 (b) 正維持員 年額3圓 (c) 贊助維持員 年額5圓 (d) 特別維持員 年額10圓以上 (e) 終身維持員 一時金100圓以上
維持員へは	La Revuo Orienta を無代配布する他當會發行新刊圖書の割引等をなす ことあり
本 會 の	普通維持員を除く他の維持員はすべて萬國エスペラント協會(UEA)の 普通會員 (simpla membro) となる
入會手續	住所 職業 姓名(振カナ付)を明記し會費一年分を支拂へばよい

會則及發行及取次内外圖書目錄要郵券二錢

役 員 名 簿 (五十音順)

理 事 長	大石 和三郎	同 東朝部長	土 岐 善 磨	理 事 (常任)	三 石 五 六
理 事 副 長	井 上 仁 吉	同 醫 博	西 成 甫	同 (同)	美野田 琢磨
同 元東北大校長	井上 萬壽藏	同	藤 澤 親 雄	監 事 醫 博	鈴 木 正 夫
同	上 野 孝 男	同 監督局長	前 田 穰	同	堀 眞 道
同	小 坂 狷 二	同 醫 博	望月 周三郎	同	清 水 勝 雄
同 中大教授	川原 次吉郎	同	柳 田 國 男	顧 問 法 博	穂 積 重 遠
同 文 博	黒 板 勝 美	同 (常任)	大 井 學	同 子 爵	三 島 章 道

LA REVUO ORIENTA

言論機關に働きかけよ

各地で運動三十周年祝賀會を催せ

言論の力は偉大である。古い同志の追憶談をよんでみても新聞や雑誌によつてエス語の存在を知つた人が仲々多い。

我々はエス運動三十周年の記念すべき年を迎へ且エス運動後援會結成の第一年に當り全国各地で一せいに言論機關に働きかけたいと思ふ。

最近新聞雑誌等が國語國字問題ひいては國際語等の言語問題にも注目してきた。この機會をのがしてはならない。

運動後援會でもこの頃毎月一二回は全国各地二百有餘の日刊新聞にエス界のニュースを報道してゐるが。各地方會でもその地方に特殊の關係あるエス界のニュースをドシドシ新聞雑誌に供給すること。

擬言論機關の利用についてはいろいろ考へるべきことがある。

1. 目ざす新聞雑誌の特徴その讀者層を考へて原稿をかくことが必要である。それではなくては沒書になるおそれが多い。

2. 同じ土地の新聞はお互に競争且反目してゐるからどちらもおこらせぬ様にしなければならない。エス界ニュースの報道はどちらへも同時にとどく様發送の事。但し原稿の投稿は一つの新聞にきめてしまつてもよい。(あまり幾つもの新聞を利用することはどちらにもきはれる結果になることもあるから氣をつける方がよい)。

3. エス語について書く場合あまりエス語に關係のない他の問題に深入りして書くことはよくない。それでないと原稿のその部分のため何の關係もないエス語に對しても讀者から反感をもたれるといふ様なことになる。

4. 原稿の長さもよほど手加減する必要がある。猶多少内容や表題に手を入れることを編輯者にゆるしてやる雅量がなければならない。編輯者はエス宣傳のためその論文を採用するのでなくその新聞又は雑誌の内容を充實しよくしたいからであり、讀者に讀ませたいからだけである。編輯者が一番其の讀者が何をのぞんでゐるかをよく知つてゐるのだから。又編輯上の一貫した方針の確立上からも。

5. 文字をキレイに字數も一目でわかる様(場合によつてはその字數を明記してをく事)にしてをくこと。編輯者といふものは大變多忙なのだからキタナイ原稿はよんでゐられない。(入學試験の答案と同じことだ)。

6. 新聞の投書欄は割合よくよまれるものだから大いに利用されたい。

7. 書く時は neesp-isto を對象とするつもりでかくこと。但し讀者の種類をみて手加減しあまり啓蒙的なエス語とは何かを説明する様な原稿は控えたがよいと思ふ。

8. 原稿の署名者はなるべく本名がよい。都合上匿名の場合でもあまり變な名やエス名をも

ぢつたのは考へものだ neesp-isto からみると非常に茶化した様で原稿そのものゝ品位を下げる人が多いから。

9. 原稿は眞向から 에스語の必要のみを力説したのもよいが讀者が高級なものには今更「エス語の必要」といふ様なことをのべず、エス語の必要は既定の事實としてエス語の活用されてゐることの紹介をする。例へばエス語でクオザアヂスが出ればそのエス譯をよんで新に感じたといふ風な書きだしてクオザアヂスの紹介的のものを書くとか、これ迄一般民衆に知られてゐない泰西文學作品 Jane Eyre とか Gösta Bertring (この原作者はノーベル賞受賞者)等について紹介記事をかくとか(そんな役にたてる意味で本誌では最近これらのあまり一般に知られてゐない大作品を誌上で紹介することにした)。

我々同志は新聞雑誌に書くとなるとつい無意識にエス語の宣傳めいたことばかり書きたくなる。しかし實際記事が効果を奏するのはこういつたエス語の直接宣傳的の記事よりも「エス語が女學校で正科に教授されてゐるとか、エス語に日本の文學作品が譯されたとか、婦人のエス語使節が米國へ行つたとか」いふ風なエス語が理論時代を過ぎて既に實地に活用されてゐる事をしらしめるのが最も効果的の様だ。

10. 特に今年は日本エス運動三十周年にあたるからこの機會に各地の地方會で古い同志をさがしだし祝賀會をやつてそういつた記事を新聞にかゝせたりする。とにかく例會でも時々何とか特別の會合といふ肩書をつけて少しちがつた催しをして新聞にかゝせる等。そうすればそれほど特別の費用がかゝらずに言論機關の利用ができる。

11. 又各地で普及宣傳講演會等をひらかれたい。後援會からは多少の補助金も出る筈。(前號後援會報告参照)。

新聞雑誌に働きかける目的の一つにはその記事を見た讀者にエス語を學ぼうといふ心持をおこさせることもあるが主たる目的は一般世人にエス語といふものの存在をハッキリと認識せしめることにあると思ふ。

エス語といふものの存在を認識した人の數が増せば増すほどエス語を學ぶ人もふえエス語に對する後援者もふえてくるわけである。

會 話 會 禮 讚

エス運動・力點のおきどころ・1

多 羅 尾 一 郎

我等の云ふ會話會 (parolkunsidoj) とは坐談を通じて、konversacio の骨を捉むと云ふのが本體なのである。御存じの如くエス語は他の語に比して比較的習得が容易であるから、とに角努力して、可成の點まで機會を得さえすれば同語を操る事が出來さうである。他の語學では普通人には出來さうでない parolata lingvo の流暢さをエス語で得ようと努力する人達の苦心が parolkunsidoj を産んだものと思ふ。

此間日本を去つた Palmer 氏が日本に齎した一番大きい貢獻は外國語教授上に rekta metodo (實物直接教授法)即ち parolmetodo を強調した事にある。何分にも英語は六つかしく、日本の國柄が此に適せぬから、豫期した成績は到底望めなかつたが、彼の主張した事は言

語習得の自然なる正道なのである。即ち母國語の流暢さは *parolata lingvo* から這入り、絶えず其語の雰圍氣に浸つて居たから得られたのである。此の事實を應用しようと云ふのが *parolmetodo* の着眼點なのである。人類言語の發達の歴史を此處に並べたてなくても、*parolata lingvo* が *skribata lingvo* よりずつと以前に構成された事は誰でも知つて居る。たゞエス語だけは人意的に構成された故に、文法の出現の後に *parolo*, *skribo*, *k.t.p.* が生れたのである。然しエス語と雖も眞に生命を持つ言語たるには *parolo* を重要視しなくては駄目である。殆ど大多數のエス語反對者はエス語を電報の暗號に毛のはへた位に思ひ込んで居る故、實用性を疑ふのは無理もない。エス語の根本文法を覚え本の二三冊も熱心に勉強したら、もう會話の勉強にかゝつてよからう。*parolata lingvo* 習得を早くからやらないと、興味をそぎ、其エス語はやがて枯死して、昔懐かしき學生時代のドイツ語の冀勉強の如く一惡夢に成つてしまふのではなからうか。

偕會話の稽古をしようにも他の外國語にては、おいそれとすぐに *ŝanco* を見付るわけにも行かず、仕方なく基督教のバイブル・クラスにでも行き、外人宣教師の布教傍らの會話師導で満足するのが關の山である(我等の様に外國へ行けない者には)。お蔭で少しは何とか云へる様に成つても、いざ卒業して實用に使はないと、直に御恩返しをして元の默阿彌になつてしまふ。

以上長い前置きに成つたが、我等の狙ひ所は大體お分りに成つたと思ふ。現在東京では日曜を除いて他の六日は毎夕何處かで此の *parolkunsidoj* がある。故に、例へば今夜は特にする事もない、こんな時にエス語會話でもして見ようと思ふ。待てよ、今日は木曜日だな。よし、新宿の *Nova Kunsido* へ行つてやれ。と云ふ事になる。餘程の暴風雨か大事件でも無い限り誰かに必ず會へて、二時間程エス語ばかりで時を過す事が出来るのである。

實は日曜を除いて毎晩 *parolkunsido* を持つ様な組織が出来る迄には随分つらい経験をなめて來た。現に今でも或る *kunsido* の如きは受難期に遭遇して居る。責任者の方に同情せざるを得ないのである。現在東京(地方の様子は知らないから書けない)には *Nova*, *Asakusa*, *Kanda*, *Musaŝino*, 日本橋、*Argenta* の *Kunsidoj* や婦人連の *Klara Rondo*、學會の水曜日例會、*Luma Kunsido* 等が存在し、大抵は *Ligo de Esperantaj Kunsidoj en Tokio* (*Lekto*) の名の下に連絡をつけて居る。此等各々は多少とも特色があるので、何處へでも自分に適した所へ勝手に行けるのである。此等の *kunsidoj* は誰が來ても差支なく、特に會費も取立てゝ居ない。別に會員制度もない。毎夕集つた人々が會員で所謂 *ĉiamuloj* 達が會の面倒を見て居る様なものである。

會場は學會と *Klara Rondo* を除いては、皆最寄の *teejo* でやつて居る。例へば *Argenta K.* は銀座の明治製菓賣店の二階と云ふ具合である。時刻にもなればぼつりぼつりと顔なじみが其處へ現れて來て、坐席料の積りでお茶を一杯位は飲んで二時間程エス語を話しながら頑ぼつて腰をすえて居る。此の二時間は各クンシイドで少々やり方を異にするも、エス語を大部分話して居る事には變りはない。参加する人々もクンシイドに依つて又多少異つて居る。*Ĉiamuloj* (御定連の)顔も殆ど五六人は決つて居る様だ。新顔や初歩の人がやつて來れば逃がすまいと親切に話相手をする様にして居る。此等 *kunsidoj* では私の知つて居る範圍では此頃の傾向は、たゞ漫然と好き勝手な話をしながら時を過す様になつて來た。昔は或る *temo* をこしらへて、例へば *religio* と云ふ問題を出して各々順番に何かそれに就いて云ふ。又五分間演説をやつて次の者がその通譯をする等、まとまつた形式を取つたのであるが、今迄の経験に依ると、どうも片方の人々は *scienco* の話が好きで、片方は *historio* を好む、と云ふ具合で、一

方に善ければ他方の人は詰らなく感じて、會に出て來なくなる等、遂にこんな *senforma* な坐談形式を作つてしまつた。

Kunsido (特に *Arĝenta K*) に行つても詰らない。出鱈目に喋つて、祿でもない駄洒落を飛ばして他愛もない事を云ふ。有閑人の行く處だ、と云ふ様な酷評を時々耳にする。然し我等は左様に考へないのである。我等の日本の語生立ちを考へて見よう。特に定められた *temo* の下に語る事に依て *parola flueco* (*facileco*) を會得したのだらうか。又日本語に對する *intimeco* を得たのだらうか。左にあらず。我等の日本語の骨は他愛なき母子兄弟間の會話に依て獲得したのである。駄洒落を飛ばしたりして *sincereco* をかくから、詰らないと考へる方々にお尋ねする。我等の日本語ではいつも修身の如き四角四面の話をせねばならないのであらうか。否、むしろ駄洒落でも口に出ると云ふ事は、その *lingvo* を自由に使ひ始めた事を證明して居るのではなからふか。未だその域に達せない人々がかく非難され勝の様に思へて仕方がない。

とは云へ、世間には無口な人も居らうし、お喋り、早口氏、スロモウ氏等各自特長を持て居られる故、今の Kunsidoj のやり方に賛成不賛成は勝手である。又我等も世間の批評の良き所は出来れば取入れる事にして居る。私個人としては過去7年間の経験から、一見素人考へでは良き様に見えても、いざ實行に移して見ると思はぬ會の不振を來たす事も随分あつた。たゞ時世の成り行きにまかして、今の *senforma* な形式で行くのが一番よいと確信して居る、會の性質上。上述の kunsidoj の功績を述べて見よう。1) 第一の目的である *bona parolanto* の製造には可成り成功して居ると思ふ。大抵の日常事は咄嗟の間に平氣でエス語でかたづける事が出来る様になつた人も随分多くなつた。2) エス語者相互の親睦の役にも大に役だつて居るし、(*Arĝenta K* の取り持つ縁で *du esperantaj paroj* が出来て居る事も此處につけ加へておく)。特に地方から上京された人々が暇な一晚をエスペランチストにあつて過したいといふ時、すぐ kunsidoj へ出席できるといふことは有難いことであらう。3) 地方にも此の種の會合が追々出来て、中々 *elokventa* な人々が時々上京されて、我等を喜ばして呉る。エス語は益々生きて來る感がある。4) 最後に對外國人との問題だが、たまに日本にやつて來るエス語同志は大抵は我等の kunsidoj にやつて來て貰ふ様にして居る。其際今迄は日本人仲間の事で、實際國際的に通じるかと云ふ不安を持つて居た連中が、一朝にして自分の話しぶりに自信を得、エス語なるかなと感じる様になり、*ĝismorta esperanto-batalanto* となる事は實に愉快である。

四五年前に來た例の Scherer にしても最近日本を去つた Palmer にしても、どうせ日本人は外國語を操る事が大の不得手であると思つて居つた所が、案外エス語界では人種平等なのに驚いた事であらう。Palmer などはお役目とは云ひながら、長い間英語會話の絶望をまざまざ見せつけられて、最後にエス會の送別の宴を残らず流暢にして貰つた時には如何にやせ我慢をしても、何物か偉大な物に打たれた事は事實であらう。此等全部を上記 Kunsidoj の賜物とは云はないが、有力なる潜勢力を此に與へて居る事は本當だと云へるであらう。

偶然にも居合せて、エス語の流暢さを目撃して、エス語信者に成つたと云ふ人も可成あると云ふ話を聞いて居る。かく話出せば切りがないから、此處で止めて置くが、最後に一言お願いがあるのです。何卒我等の Kunsidoj に同情されて、其使命を完全に果させる様に御助力を願ひたいのです。

行つて見ても詰らない、皆下手糞で、自分に益する所なし、などゝ老大家振らないで、後進を *gvidi* する積りで來て下さい。來て見て案外皆が良く喋るのに驚かれた方々もある位です。近來 *parolkampo* に於て人口が随分増えたなと云ふ感が私にも時々します。

世人は随分 kaprica なものだ。esp-istoj も又然り。人々の集りが悪くて、やむを得ず消滅してしまつた Kunsidoj も二三ある。折角出来たからには成可く、regula に出て、潰してしまひたくないものだ。(Argenta K. Nova K. Klara Rondo 等はもう永久不拔の物となつたが。)

Esperanto は日本に於てはもう永久に死なない。unua etapo である所の parolata lingvo がかくも健全に力強く發達して來たから。

Grenkamp-K: "Pri l'Moderna Arto"

の も つ 意 味

瑛 九

日本の今の繪畫が(そして又美術全體が)、自働車が街上を走り、飛行機が大陸と大陸を結ぼうとしてをり、ムツソリニがエチオピアを植民地化さうとし、ヒットラーがライオンランドに進軍し、西班牙に左右兩翼の對立の行動的激化を見る今日の二十世紀にあつて、依然として個人的な獨りよがりの中に停滯してゐることはまさに驚くべきものである。瑛九氏ほどこの中にあつて、特に日本的であり、同時に彼ほど普遍的なもの、眞に人類的なものはない。彼こそ徹底的な世界的態度をもつた、現在の世界が——何等の誇張なしに誇らねばならない客觀の精神のみちみちた最も優れた藝術家の一人である。彼の藝術はピカソを現代の日本の所謂新しい畫家達が、乗り越えてゐるのと全く異つた、その眞の意味に於いて、のり越えたものである。シャガール、レージェに就いても同様である。彼はフランスのそれは同時に世界の前衛藝術の一群の作家達中の指導者と肩をならべて前進するものである。この藝術は現在の客觀であり、歴史的社會的斷面である。これを「作者のサンチマンの深さ」だなどと解するものがあつたとしたら、吾々はふき出さずには居られぬであらう。

「エスペラントは歴史がなく、民族性がないことが、そして人造語であるからこそ二十世紀的役割をもつてゐるものでなければならぬ。例へばジョイスのユリシーズこそエスペラントで書かれたら、もつと直接的効果をだしたであらう。」といふ瑛九氏のこの批評から吾々エスペランチストは學ぶ可き多くのものを汲み取るべきである。

久 保 貞 次 郎

「『現代美術』なる書物を著す爲めに出版所 Literatura Mondo から招かれた時、私はちやうちよなく、引き受けたのである。私はエスペラントで此種の著作をなすことは、教養上にも宣傳上にも極めて有益であるに相違ないと思つた。私は私の同僚であり友人である Jan Brzezowski に助力を求めた。彼はすぐれた批評家であり繪畫藝術のイズムに就ての専門家である。彼は美術に關する多くの著作をなし、巴里の "L'art contemporain" の編輯者である。此の私の友人は助力を快諾した。我々は數回會合してエスペラント界に出きるだけ明瞭精確な研究を興へたいと努めた。」かかる最初の意企によつて Pri l'moderna arto が書れたものである以上この著作は現代美術の専門的著作でないといふことはそれはこの書の役割が非常に啓蒙的な所にある事を意味する、そしてそれは一般的であり、又エスペラントで書れたといふことによつて、

エスペラント使用者に一應讀者層が限定され、なほかつ、ゆえにその限定が限定されないエスペラントの使用價值の認識へとエスペラントに非ざる知識階級をさそうものである。なぜかならばこの書の取り上げてゐることがもつとも現代的な美術についてであり、それがもつとも現代的な二十世紀的な言語で書かれてゐるからである。現代の美術が我々の頭腦によつて到達した叡智の究きゝくの産物であると云ふことが出来れば エスペラントも又そこからの見地から言語史的に理解できるであらう。現代の藝術は現代の自然がすべて人類の頭腦から作り上げられたメカニツクなものであるといふ特色を重要視してゐるのであつて、この意味は何も藝術と限定すべきではなく、我々の生活自體がかかるエスプリから出發してゐるがゆえに、現代藝術も又メカニツクな、科學的な、非個人的な、趣味を排したものであるといふべきであらう。エスペラントはかかる現代的なる特色を論證する所の重用なる一個の素材であり、又かかる現代的なる特色を論證するにもつとも一致した所の唯一の現代的言語といふことが出来るであらう。「あたらしき酒はあたらしき盃に」といふ事を人々はいいふるしてゐるがこの言葉の實行は中々にやらうとはしない、といふことは多くの場合、新しいといふ事の必然性が認識されてゐないからであつて、非論理的なる自己の主觀的サンチマンの新しいからである。あたらしき藝術を素材としてそれにもつとも一致した言語表現といふ事は充分考へらるべきである。現代の藝術の持つ最も思想的特質は世界主義的な事であると云ふ事は何人といえども認めねばならぬことであり、ここに二十世紀の論理があるのである。我々は歴史的な自然から現實的創造的自然への認識を深めぬかぎり現状を十分に把握することは不可能である。エスペラントは現實的であるがゆえに創造的である 現代の自然の中から必然的に發生した所の自然語なのであつて、これは *Pri l'moderna arto* に於て寫眞版にされてゐる作品中でもつともあたらしいビュリスムにあらはされた自然と同じ線にそつてゐるといふことが云へるのである。かかることは「現代的なるもの」が現状的な言語で表現されねばならぬ必然を感じ初めてきた我々のそれに関するメモであつて、實行されてゐるといふ場合は不幸にして非常に少いと云はなければならぬ。Grenkamp はかかる態度を概念的に認識してゐるといふことは云へるが、このことが *Pri l'moderna arto* をどうでもこうでもかかせねばならなかつたといふ類の書といふことは出来ない。これは Grenkamp が文明批評家ないし藝術批評家といふ態度からエスペラントを取りあげたのではなくエスペラントなるがゆゑにかかる仕事を取り上げたといふ便利主義的なものが感じられるからであるが、かかる便利主義的立場も充分現代の幼稚なるエスペラントを啓蒙するに充分なる役割であることは云ふまでもないことであつて、その點もつとも高く評價しなければならぬこの書の特質であらう。この著者は序文の中で次の如く言つてゐるこの態度は彼の便利主義的著作を決して軽くあつかつてはならぬことを感じさせるであらう。

——二十世紀の初頭數年間に繪畫藝術の *renverso* が起つた。その爲にアヴンギャルト（前衛）藝術とそうでない古い藝術との間に深にギャップを生じた。つねに新歩的藝術家は前進する。しかも一方中産インテリ消費階級は繪畫藝術的創造の新しい根底を了解しない。これらの理由で消費インテリ階級と美術家との接觸は絶れてしまつた。然し畫商達はスノブイズムの商業價值に巧みなヤマをかけてこの新しい藝術を部分的に助けて來た。しかしかくして困難なる事業をかたづけるのは満足出来ない。新しい大衆に現代藝術を引きつける事は不成功であつたし、ナチュラリストの古い美術家達をナツトクさせることは出来なかつた。——と一應現代藝術の「困難なる事業」をこんなふうには見てゐるので、この藝術の大衆との遊離の原因を彼は次の如く定義づけてゐる。「この事は主として其批評が其職責を正しくはたさなかつたつみに

ある。然り其の批評は美術作品の愛好者をその創作家に近づけ様と努めなかつたにある。」といふ所に彼がこの便利主義的啓蒙的著作がなされなければならぬ必然な裏付であると云へるであらう。批評の職責にも色々あるであらうが、Grenkamp が取つたこの態度をエスペラントといふ二十世紀的言語によつて始めてかかれたといふことに於て一層の獨自性を發きするのだ。もしこれが日本語でかかれているとしたら、かかるアヴンギャルトの藝術を求める新しき大衆の限定されるべきはんみに於て無意味に近いであらう、なぜなら現代藝術の思想的特質は世界主義的であるといふ意味に於てである。世界を意識してゐることによつてエスペラントをもつとも時代性ある國際語として取上げてゐるであらう、エスペラント達はこの書の語られる素材とそれを表現する言葉の一致に同感を持つであらうし、アヴンギャルト藝術のもつともよき理解者たる素質を自認するであらうことを信ずる者である。もしそうでないエスペラントがあつたならば彼は完全にエスペラントの時代性及その歴史的意義を知らぬきわめてへんちくりんな言語の遊び者と云はねばなるまい。藝術はつねに技巧を主體としたものでなく時代精神を主體とした表現なのであつてゆえに創造なのである。エスペラントも又時代の創造であつて自然發生的な國語とまつたくその性質を異にしたものであつて、時代精神を主體とした言語エスペラントを言語的表現の時代的理解だと認識してゐる筈のエスペラントに現代藝術が他人である理由が発見されないのである。

Pri l'moderna arto は非常に價のやすい本であることも Grenkamp のこの書をかかねばなかつた啓蒙的エスペラントとしての役割の裏付として大によろしい。又視る事が第一のじょうけんである造形藝術の紹介として主力が文章より寫眞版にむけられてゐることも當然であつて 74 個挿入してある。印刷が少し悪いのはこの種の本として 1 圓そこいらではこの印刷は悪いとはいへぬのかもしれない。アヴンギャルト美術の紹介として最近の日本に於て最もよまれたものはイギリスの詩人で美術批評家たるハアバート・リードのアートナウ、アメリカから出版されたソビイのアフターピカソ其の他であるが紹介的著作にすぎぬのでありながらいづれも 10 圓以上であつたと記憶する。その點この書は啓蒙的に最も徹底した態度といえるのである。この書がエスペラントを知らざる無教養な日本の美術家達に興味を起させるのは多い寫眞版の選擇が一般書の割に珍しいものが選れてゐるからであり、日本のインテリと自認してゐて現代美術とはマチスとピカソであるとすましてゐる人々には、あまり目新しい名前ばかりなのにおどろくであらう。J. Torres-Garcia, S. Grabowski, S. Taeuber-Arp, H. Stayewski, W. Streyeminski, K. Kobro, L. Kisskák, T. Van Doesburg などのピュリスム系作品など、及このまへ日本にきて三越であわただしく個展をやつて歸つて行つた K. Seligman といつた新人は今迄日本では美術雑誌ですら寫眞版であまり紹介してゐない様である。いま少し古い處で日本できつから知られてゐる様な Mondrian や Malewicy 及 Oyenfant, Liq šic, Brancusi, それにシュル・レアリストのエルンストやミロやの作品はみな選たくも大體においてよいものばかりである。もちろん今日ではすでに過去の人になつたピカソ、マチス、キスリング、ブラック、マルクシー、レエヂエなども寫眞版として代表的なものがはいつてゐる、それに近代藝術にわすれられぬ十九世紀の偉大なるセザンヌにあいすべきドアニエ・ルツソオ。

諸君はこの豊富な寫眞版をまえにして多くは「どうもよくわからん」と云はれるであらう。Arp のねんどのちぎれの意味について、近代の文化人の頭腦の究極の創造とみるまでに幾多の智腦的懷疑におちいらねばならぬであらう。わからないといふことを作品のせいにして自己にその罪がないかどうかは一考すべき知識階級と自認してゐる人々の義務であらうと思ふが

如何。エスペラントが正しいがゆえに誤解される時の態度が、アヴァンギャルト藝術にもあてはまることをエスペラントテストは忘れてはならない。

文章の方は菊判で二十五頁位、こんな風の書物として単純明快といえる範囲でようりようよく書れ、エスペラント語の現實的特質もいきいきしてゐてよろしい。

- I. Antaŭparolo
- II. Rigardo en la historion de l'ismoj
- III. La Realo kaj Abstrakto
- IV. La tendencoj de l'moderna arto
 - Deformiso
 - Kortruado
 - La literatura esprimo
 - Interpenetrado de la tendencoj
- V. La stato de l'nuntempa pentroarto

の以上の五つからなつてゐる。

この書の役割については前述したので、部分的あげあし取りは必要でないからよす。

(1936, 4, 19).

✓ Gösta Berling 物語

エスペラント譯泰西文學鑑賞・2

萬澤まき子

今回は北歐文學に名高い „Gösta Berling“ を選んでみた。エス譯書は大型四六版 550 頁の大きなもの、邦譯は野上女史のがあるきりで餘り我が國には知られてゐない様であるから、編輯部の註文にも適すると思ふ。

原作者 Zelma Lagerlöf は近代瑞典が世界に誇る女流作家で、1909 年にノーベル賞を授與された現存の人である。„Gösta Berling“ は彼女の處女作であり、出世作である。彼女の作品は特殊な雰圍氣を持つてゐて、「近代文學の最も驚異すべき破格」といはれてゐる。

Lagerlöf は瑞典中でも特異な氣風を持つ Vermland 地方に生れ、そこに生長した。その地方には今日猶、古い傳説や口碑が人々の心に生きてゐる。Gösta Berling も幼い Lagerlöf が冬の夜の爐邊で耳を傾けた昔語の中の一人である。それは彼女の幼い胸の中にしみこみ、彼女と共に生長し、遂には素晴らしい男性として、生々と彼女の筆の中に姿を現したのである。Gösta は Lagerlöf の戀人とさへいはれてゐるが、實際私達は Gösta の奔放潑刺たる姿の中に作者の深い愛と溫い思ひやりを感じ心を打たれる。

„Gösta Berling“ は筋の面白さを讀むものでなく、不完全な人間の靈魂の高い憧れと悩みとをみつむべきものである。全篇に漲つてゐるあの不思議な味ひを何と表現したらいいだらう？ 淡々たる筆致の中に生きてゐる種々な性格の人々、あらゆる生物に對する溫い愛情と敬虔な感情、切々たる哀愁の中に花の様に微笑んでゐる軽いユーモア、そして、恣な美しい幻想。それは矢張り、冬の夜の爐邊に Lagerlöf が語る私達へのお伽噺である。

全卷38章550頁、僅かな紙數に映し出すには餘りに大きい。それに、この物語の不思議な味はひをほんの少しなりとも私の拙い skizo の中に出したいと思ひながら書いた最初の原稿をも、紙面の都合で半分の枚數に縮めなければならなかつたので、次に紹介する skizo は骨ばかりの實に無味乾燥なものになつてしまつて、この物語の持つ最も美しい感情や Gösta をとりまいてゐる人々の風變りな然しなつかしみのある性格等をお傳へ出来ないことは非常に残念である。この物語では一章々々が殆んど獨立した話の形をとつてゐて、前の章と次の章の時間的な距離なども不鮮明なので、skizo に於ても行間を一行あけて章の區別をつけて置いた。

翻譯者 Stellan Engholm に就いては多言を要しない。瑞典で最も活躍してゐる同志として、“Al Torent“, „Homoj sur la tero“, „Infano en Torento“ 等の原作者として、“Per balono al la Poluso” の翻譯者として既に私達に親しい人であり、エスペラント文壇に輝かしい將來を期待されてゐる人である。

*

*

*

十九世紀の第三十年の始めのことである。Okcidenta Vermlando のある教區で若い牧師が職を追はれた。牧師の名は Gösta Berling. アテネの神の如き容姿、詩人の瞳、武將の顎、美しくそして若い Gösta Berling. 北歐の陰鬱な四圍が彼に飲酒を教へたのだ。ブランデーのみが彼の青春の血をたぎらせる。然し過度な飲酒のために聖職を怠り、遂に彼はその教區を追はれた。それが彼の最初の不幸であつた。

*

寒い十二月のある夜、死をはかつた若い乞食が通りかゝつた老婦人に救はれた。若い乞食は Gösta, 老婦人はこの Vermlando に女王の如く君臨する少佐夫人であつた。彼女は六つの工場を持つ富と權力の權化である。然し彼女の過去も涙と罪にみちてゐるのだ。

*

Ekeby にある少佐夫人の邸宅の傍の「騎士の家」に十二人の家なき騎士達が飼はれてゐる。その中の最年少者、そして騎士中の最もすばらしい騎士、それが嘗つての牧師 Gösta であつた。

クリスマスの前夜、惡魔の子が單純な騎士達の心に毒を注ぎ、少佐夫人に對する故なき呪ひを植ゑ付けた。惡魔の子、それは憎惡を愛し人の不幸を喜ぶ Fors の老工場主 Sintram である。

*

クリスマスの日、少佐夫人の催した盛大な饗宴の席で、彼女の忠實な騎士達は突如反旗をひるがへした。彼女は光輝と榮光の席から追はれて憐れな家なき女になり、Vermlando を左右する Ekeby の富と力とが遂に騎士達の手へ落ちた。

*

Gösta Berling はうたはぬ詩人だ。彼の中にはあまりにも熱い詩人の血がたぎつてゐる。彼は愛する友人のために美しい Anna Stjärnhök の心を取りもどしてやりたいと思つたのに、Anna の瞳は Gösta の爲に燃え、Gösta の心は Anna の甘い愛の爲にとける。然し Gösta は許されぬ愛に諦めと涙とを注がねばなかつた。

*

Ekeby の騎士の家の舞踏會で、才と富と、外國の王冠すらも彼女の前に跪くといはれる程の美との所有者 Marianne Sinclair が、Gösta の瞳に我を忘れて熱い接吻を彼に與へた、その

接吻は彼女を女王の如く崇めてゐる彼女の父親を激怒させ、Marianne は父の家を追はれた。十二月の夜半の雪の中に半ば凍死してゐる彼女を Ekeby の騎士達が救ひ彼等の家に運んだ。Gösta の強い腕の中で、Marianne は自分の心の底に永いことひそめてゐた Gösta への愛が荒々しくめざめるのを感じた。

*

少佐夫人は惨めな姿で物乞ひをして歩きながらも愛する莊園の監視を怠らなかつた。Ekeby の舞踏會の夜、騎士の手に破壊されつゝあるこの地方の誇りを救ふために彼女は村人を指揮して騎士の家を襲撃した。Marianne の機智で少佐夫人の計畫は失敗し、騎士達は恥辱から救はれたが、彼等は少佐夫人の偉大さに打たれる。

*

美しい Marianne は理性の冷たい眼に監視される不幸な女であつたが、騎士達を少佐夫人の襲撃から救つた翌日から病床に呻吟して二月も末になつて病床をはなれた時、彼女に残されたものは天然痘に損はれて變り果てた顔と一層冷たい自己監視だけであつた。醜い彼女に自分の一生を捧げるといふ Gösta の激しい愛情を彼女は力ない微笑で眺め、娘の病氣を知つて迎へに來た父親に反抗する氣力もなく、騎士達の留守の間に彼等の家を去つた。裏切られた Gösta の心は激しい懊惱の後冷たく凍り付いてしまつたが、彼の罵倒を受け、彼の心の冷却を知つた刹那、Marianne は眠つてゐた愛が猛然とめざめるのを感じた。失つた愛への渴望と痛み。それを彼女は一生涯歎かねばならない。

*

若い伯爵夫人 Elisabet Dohna は快活な可愛い婦人で、善良そのものであつた。三月八日の S 検事邸に於ける舞踏會の夜、彼女は愛し尊敬した良人伯爵の愚鈍と卑怯と虚榮を見、氣狂ひの免職牧師といはれてゐる Gösta の中に素晴らしい男性をみた。力強い言葉と輝かしい行ひの男、野性的な然し何者をも恐れない、男の中の男、それが Gösta Berling だ。Gösta も亦同じ様な感激に打たれた。こんなにも清らかな魂が、こんなにも純情な敬虔な女性がこの地上に存在するのだろうか？彼女の奴隷、彼女の犬、それに Gösta はなりたいたいと思つた。

*

伯爵夫人と Gösta の友情が人の噂にのぼりはじめた。彼等は全く純潔な友情でつながり合つてゐたのに、噂は若い者の氣持ちに寛大ではなかつた。Gösta への愛を諦めねばならなかつた、あの Anna Stjärnehök は、愛する Gösta を誘惑から護らねばならぬと思ひ、彼の過去を伯爵夫人に物語つた。伯爵の妹 Ebba Dohna が、神の教へに生き神の國に憧れるあの清らかな少女が、如何にして Gösta を愛し、如何にしてその愛のために自殺しなければならなかつたか？伯爵夫人は驚愕と絶望に蒼ざめて Gösta に絶交を言ひ渡した。

*

Gösta は半ば狂氣の貧しい簪賣り娘を婚約者に選んだ。彼の荒み僻んだ心はその結婚によつて一層彼自身を笑ひ物にしようと企てたのだ。伯爵夫人はその噂を聞いて苦しんだ。彼が犯さうとしてゐる罪惡の源は彼女自身である。彼女の投げつけた言葉が彼をこの自暴自棄に追ひこんだのだ。Gösta の婚約披露會の夜、彼の婚約を中止させるために、彼女はひそかに邸を出て氷がとけ始めた湖上を寒氣と疲勞に泣きながら徒歩で渡つた。眞夜中をすぎてやつと Ekeby の岸に着いた時、洪水のために川岸の工場や人家が危険に頻し、Gösta は婚約披露を捨て、防禦工作を指揮してゐた。彼は濡れ蒼ざめた伯爵夫人を見た。そして彼女のやさしい忠告の言葉を

聞いた。あらゆる罪や憎悪が彼の胸から暖くとけ去つた。

*

翌日、彼女は良人と姑から前夜の冒険を詰問され、Gösta に對する彼女の愛情を追究された。善良な彼女はその時始めて自分の心の秘密を知つた。彼女は Gösta を愛してゐたのだ。何ものにも換え難い程愛してゐたのだ。それを彼女はかくしてゐた。彼女は許されぬ愛を抱いた不貞の妻だ。

それから彼女の瀆罪が始つた。彼女は主婦の地位から召使ひの最も下級なものに落され、慘酷な方法で順れない労働をさせられた。姑はあらゆる手段で彼女の身心を苦しめたが彼女は甘んじてそれを受けた。だが、彼女の愛を Gösta 自身すら知らないのに、彼女の罪とは一體なんだろう？ 周囲の人々はこの不當な刑罰を痛々しく思ひ、伯爵とその母を憎んだ。彼女は責苦と酷使のために衰弱した。そして六月のある夜、彼女は家をのがれた。責苦をさけるためではなく、たゞ知らない人達の間に瀆罪の道を行きたいと思つて。(次回完結)

坪 田 一 男 君 を 弔 む

松 田 周 次



坪田君がなくなつた！君そんな事があるはずがあるものか。といくら思つて見ても現實は冷く迫つて来る。新聞や R. O. に大きな活字となつて表はれ自分自身此の手で數十通の通知狀を發送しながら未だに彼の死は全く夢の様だ。彼が最後の會合に出席したのは3月の20日の日であつた。散會後由比さんと坪田君と僕の三人は明葉でお茶を飲みながらしゃべり合つた。そのとき由比さんが私達に言つた「坪田君は最近元氣が良いね、だが松田君は少し顔色が悪いから身體に氣を付けなければいけないな」。こうして別れたのが最後であつた。それから僅かに一月、永遠の別れを告げねばならぬとは神ならぬ身の誰が知らう。

坪田君と始めて會つたのは今から五年前 1931 年の4月の講習のときだつた。坪田君は僕より半年早く 1930 年の12月の頃だと聞いて居る。丁度日本大會の濟んだ後で古い同志がみんなすつかり疲れ切つて居た時であつた。そこへ飛込んだ坪田君はその清新の意氣で素張しい活動力を以て忽ち會の中心人物となり金澤エス會の一切の仕事を切まはして居た。僕の受けた講習は彼の活動の第一歩であり又彼の Esp. vivo の中で最も會心の働きをしたものと云へる。今でもその當時の日記を読むとき彼の熱情希望及成功の歡喜がぐいぐいと心をゆすぶつて行くのを感じる。そのときの受講者五十餘人、その中彼一人で引つぱつて來たのが十七八人もあると云へばその活動振りを知る事が出来やう。その後も講習の度毎に彼の勧誘で三人や四人は必ず來た。そのとき私は第一番目の受講者であつたが、坪田君がにこにこしながら少し興奮の面持で双手を舉げて歡迎して呉れたのは今でも鮮かに記憶に残つて居る。二人は家が同じ方向にあつたので講習が終つてからいつも二人伴だつて歩きながら會話のけい古をした。當時私は全く新米のペイペイ、坪田君も大幹部として一切を切まはして居つたが、やり出して半年の事とてまだkomencanto の部類を脱して居なかつた。二人の會話には随分頓珍漢な事もあつたであらう。

うが二人にはだんだん會話が出来る様になるのが大變嬉しかつたものである。此のおかげで私は他の人にくらべてかなり早く樂に口が動く様になつた。私の Esp. の土臺は此のときに礎かれた様なもので全く坪田君のお蔭と云つて良い。

此の年の 10 月 K.E.G. (金澤エス會) の歴史の上で記念すべき K. E. G. の組織再確立があり一同更生の意氣を以て邁進したが張切つた力は長くつゞかずいろいろの原因から會は再び衰微に傾いて行つた。かうして 1931 年の半ばから 1934 年の半ば、由比氏の來澤菅野氏の參加を見るまで K.E.G. は不振の状態にあり働くものとしては坪田君と柊野さんそれに私位のものでガランとした商工會議所の部屋に坪田君と二人でつくねんとすはつて居た事も一再ではなかつた。こんなとき良く二人で議論をし合つたものだが僕の理屈ばいには坪田君も閉口して居たものである。ともあれ此の不振時代にあつて坪田君の不撓不屈の意氣と樂天的の性格が我々に取つて如何に力強いものであつたかそれは只逆境にあつて共に戦つた者のみの知る事である。

彼は非常に明るい朗らかな性格であつた。高小を出た切で之と云つた學歴は無かつたが之が却つて幸ひしてか型にはまらない伸びのびとした仕事の仕振りを見せた。Esp. の方でも例へて云へば文法のせんさくをすると云ふ様な事は不得手であつたが實際的方面には驚くべき手腕を示した。第六回北陸大會 (此のときには大々的な講演會音樂會などを開いた) 第八回北陸大會を始め毎年の Z 祭、講習會、講演會、展覽會、Pikniko 等凡そエスペラント會の事業と名の付くほどの事はことごとく彼が中心になつて働いたものであつた。又その豁達な物おぢしない性格からして外部への活動を特に得意とした。昨年來の名士訪問などもその著るしい現はれでフアッシュヨ風の吹すさぶ今日聯隊區司令官の所へエスペラントを宣傳に行くなど常人に眞似の出来ない事をどしどしやつて行つた。又スポーツに巧みでスキー、水泳、庭球、野球、ピンポン行く所可ならざるは無き有様で音樂にも趣味を有しその交際の廣い事も稀に見る所であつた。最近では Norda Stelo の編輯及金澤エスペラント運動史の編纂に没頭して居たが平生放漫の様に見へて居た彼が筆を取つては別人の如くその明徹犀利な觀察力、すばらしい筆のさえと全力を傾注した仕事振に全く我々を驚嘆させたのである。

北國人に類ひ稀な明るい積極的な性格 Esp. に對するその熱情と手腕力倆、もし中央にあつたならば正しく全日本の運動を指導するに足る人物であつた。思へば思ふほど我々は perdita juvelo の如何に大きなものであつたかをひしひしと感ずるのである。

人の一生はこの爲し得たる仕事によつて量るとか。彼の 23 年の生涯は短かつたとは云へ彼が残して行つた偉大な足跡その偉大な影響力は永久に北陸、否日本エスペラント運動史の上に輝くであらう。此所に我々は彼の熱情、彼の遺志を受けつぎ、我等の sankta movado に獻身すべき事を誓つて彼の靈へのはなむけとしたいのである。

辻利助君の憶ひ出

我國唯一の UEA 終身會員だつた

米田徳次郎

辻君は大阪船場の中産商人の獨り兒で所謂生粹の浪花つ兒である。兩親の熱愛と恵まれた家庭に育つたことが幸か、不幸か、餘り我儘氣隨が過ぎて遂に小學校教育すら完了せなかつた。

世間並の小愛に夢中なる両親は愛兒の意思の儘に放置したのである。だが近親や友人達が見るに見兼ねた勸告で、所謂「可愛い兒には旅をさせろ」の諺を其まゝ約半年許りの間、辻君は東京の知人に預けられた。

明暮愛兒の身を案じ暮す両親は家業も手につかず、遂に辛抱し切れないで辻君を呼び戻した。「辻君も實は當時毎日〱大阪の空を眺めて父母戀しと幾度か泣いた」と晩年筆者に話して居た。こうした心配が原因で父親は辻君の十七歳の時に早逝した。女親一人の手に委ねられた辻君は、父の遺業を繼承するの意志はなく、母と共に郊外閑靜なる地を求めて轉住したのである。此住居が三十有餘年間君の語學研究殊にエス語研究の殿堂となつた。

十八歳の頃不圖した動機から、學問を嫌つた辻君が急に好學の青年となつた。先づ擇んだのは英語であつた。寢食を忘れて英語の單語征服に熱中したのである。此努力空しからず、數年

後にはロンドン・タイムスを讀破出來得るやうになつた。進んで英語を研究する傍ら菅柄彦畫伯に師事して繪畫を習ひ、また書道を誰かに習つて居た。後年畫に書に辻君一流の特徴的のものがあつた。

辻君は何年頃からエスペラントを習ひ始めたか、筆者が辻君から聞いたまゝを書いて見よう「明治40年頃、ロンドンタイムスにエスペラントに關する記事があつたので強く感動し、是非研究して見たいものだと考へたので辭書と教科書を得ることに随分苦心をした。幸ひ英國からエス語の初歩のものが手に入つたので、一生懸命に獨習した。其後年々歳々辭書や翻譯物が追々出版されたので學習も從つて容易となつた」と。



辻君が相當エス語を解するやうになつたので、友人の阪上君(堺市)と時々會合して研究を進めて居た。大正2年に結婚した辻君に、今では二男一女の遺兒がある。これからの未亡人の辛苦は並大抵のものではあるまい。

大正5年に高尾亮雄君の肝煎で辻君は少國民新聞社に校正係として入社した。勤務の傍ら同志を作ること努力した。高尾亮雄君、神崎泉君、狩野金之助君、相阪佑君其他數氏と東教會に集つて、エス語の研究會を開いたのは其後間もないことである。當時少國民新聞はエスペラント宣傳機關として、非常に役立つたものである。

大正8年に福田國太郎君が大阪に轉勤して來たので、有力な指導者が出來た。福田君が Verda Utopio と云ふ雜誌を發行されたので、辻君は陰に陽に之れを援助した。

大正8年頃から辻君は UEA の大阪デレギートとして随分大阪の同志のために面倒を見て呉れた。當時官憲の誤解が甚しかつたので同志は相當迷惑をした。辻君は timema な割合に絶へず潜行的な講習會を開いたり、また會合もやつて居た。

大正11年に相阪佑君が大阪でエス語講習會を開き、一舉に五十名許りの Esperantistoj が出來た。此講習會に故栗飯原晋君辻君川崎直一君等が大に援助したのである、しかし結果から見ても此講習會はよくなかつたようだ、即ち今日エスペランチストとして残つて居るものは、筆者の知る範圍では一人もないのである。之れに反して辻君が單獨で潜行的に數人を集めて講習したものが、可成り多くエスペランチストとして現存して居る。

英語の單語征服に成功した辻君はエス語の單語征服にも成功した。大阪に於ける辻君の存在は生字引として、實に重寶なものであつた。またエス語講習會の講師としての辻君の名は餘りにも有名であつた。親の遺産で遊んで食つて行ける辻君の境遇は、エスペラントに精進するよ

り外なかつたかも知れない。大阪に於けるエス語の開拓者初期の學習に宣傳に普及に辻君の貢獻は實に不朽の功績である。

辻君一生の經歷となつたのは、筆者の推舉で、磯崎巖君の跡を受けて、大阪市立盲學校のエス語の教師となつたことである。岩橋武夫君が歸朝するまで約一ケ年間在職した。君の人格と熱心と親切とは、全生徒に深くエスペラントを植へつけた。

Timema な辻君には會話は苦手であつた、或は無表情に或は微笑しつゝポツリポツリとエス語で話したあの姿、今猶眼前に彷彿するの感がある。高尾亮雄君はいつも辻君を帶同して方々へ出かけたものである、要するに高尾君の雄辯には辻君の生字引が是非必要であつたからであらう。

晩年辻君は強度の神經衰弱に罹り、絶へず病床に親しんだ。最後の二年間は殆んど外出せなかつた。貞淑なる夫人の看護と愛兒等の孝養に満足しつゝ静養を續けた。此間絶へず手に枕頭にエス語の雑誌や書籍を放さなかつた。最後に辻君は不眠症に悩んだ。家人は現代醫學の命ずる最善を盡して回復に力めた、だが總てが空しかつた。齡五十、昭和 10 年 9 月 28 日朝莞爾として永遠の旅に上つた。

辻君は大阪最初のエスペランチストであつた、恵まれた家庭に、職業を持たなかつたため、存分にエスペラントに精進することが出来た。著書の計畫もあつたが、惜しい哉病氣のために果さなかつた。これは辻君にとつて最大の遺憾事である。

(昭和 11 年 5 月辻君の遺書の整理成るの日)

〔編輯部附記〕 辻氏の遺されたエスペラント書は米田氏によつて保管され、後、米田、兒島兩氏の肝煎りで日本エス學會文庫にない貴重な dokumentoj 類が學會で購入の上、永久に保存されることになつた。猶他の古い雑誌書籍の類は大阪の同志の手で處分されたときく。

動詞 FARI の用法

(5)

K. OSSAKA.

§ 4 (b). „Fari ian aferon (=faron, agon)“ (或る)事をする。

Se iu pekos per eraro kontraŭ la ordonoj de la Eternulo, malpermesantaj **fari** diversajn **aferojn**, kaj li faros iun el ili;... (Lv 4-2) 若し云々の事を爲すべからずと云ふ神の命令を誤つて犯し、その一を爲すものあらば……

Komp.: Se princo pekos kaj per eraro faros iun el la agoj, kiujn... (Lv 4-22) 若し王侯にして罪を犯し誤つてその行爲のどれかを爲すものあらば……

Ni do povas parafrazi:

Ne faru tian aferon=Ne faru tian agon (aŭ faron, aŭ agon)=Ne faru tiel (aŭ tion) [sed ne: Ne aferu tie].

Ne faru tian kritikon=Ne kritiku tiel [sed ne: Ne faru tiel kritike].

La unua ekzemplo estas el la kategorio de „fari“ kun samorigina komplemento, dum la dua estas „fari“ formanta verban frazeron.

EKZERCAJ EKZEMPLOJ

Via filino ne kondukas tiel, kiel edzino devas konduki, kaj ŝi **faras aferojn**, kiuj estas

kontraŭaj al la honoro (=faras agojn kontraŭajn al la honoro=agas kontraŭ la honoro).
(GD 11/-3) 貴殿の息女は妻たるべき道をふまず名譽をけがす様な事(行爲)をしてゐるのです。

Mi tre volas **fari** la **aferon** (=fari, agi) sekrete. (GD 7/6) 内證でやりたいのだ。

Kiel homo havanta devon **fari** du **aferojn**, mi nun ne scias, kiun el la ambaŭ elekti.
(H 98/-3) 二つの事をやらねはならぬ人と同様おれは二者の中のいづれを選んでよいか迷ふ。
(Ankaŭ vidu: FI 85/25; 91/7; M 37/21; 71/17; 146/5).

Rimarko: En ĉi-malsupraj ekzemploj la vorto, „afero“ signifas „taskon“, sed jam ne simplan „faron, aŭ agon“, kaj sekve donas la sencon kiel se „fari (ies) aferon“ parafratigis per „(propre) aferi“:

Faru vian **aferon**, Dio zorgos ceteron. (P 501) 自分の仕事を熱心にやつてゐればよいのだ、あとの事は神様が面倒を見て下さる。(諺)

La knabino **faras** siajn **aferojn** ĉiam mem, per sia propra persono, ĉar ŝi scias, ke la aferoj estas bone plenumitaj. (FI 72/-2). 娘はいつも自ら親しく人手を借りずに自分の事は自分でするのである、それはその方がよく出来るから。

[註] per sia persono=per si mem 自分で (人手を借りずに)。類例: en (sia) propra persono 他人ならぬ(何某)その人自身(自ら, 親しく)。例: Ĝuste en tiu momento envenis sinjoro Davis, la mastro, en propra persono. 丁度其の時はいつて來たのはほか人ならぬ主人 D 氏其の人。

§ 4 (c). „Fari —aĵon“=fari —an faron, aŭ agon.

Mi **faros** al li **bonfaron**. (FI 94/10; ank. vd. M 169/4) なさけをかけてやろう。

Bono farita ne estas perdita. (P 179) なさけは人の爲めならず(失はれず)。

Pri la **bonaĵo** (=bono, bona faro), kiun mi **faris**, rakontu aliaj! (FI 117/-3) 私の爲た善行を云々するのは人にまかせる(自分では云はぬ)。

EKZERCAJ EKZEMPLOJ

Kaj Li (=la Eternulo) **faros** al vi **bonon** kaj multigos vin pli ol viajn patrojn. (Re 30-5) 神は汝等にめぐみを垂れ給ひ汝等を汝等の祖先よりも數増し給はん。(ank. vd. Re 8-16; BV 64/2; FII 31/-11; FK 32/26, 33/11).

Plej kruela estas redono por farita bono. (P 698) 折角なさけをかけたのに返報されるのは辛い事(さはらぬ神にたゞりなし: Kiu nenium savis, malamikon ne havas と一對の諺)。

Multe da homoj ne **faras malbonon** (=faras aŭ agas malbone) pro timo de mallaŭdo kaj agas bone pro deziro de laŭdo (M 172/14; ank. vd.; FIII 71/16; SS 226-8; Re 9-18, 31-29; FK 32/26, -7). 非難を惧れて惡事をなさず, 褒められたさに善事をずる人は多い。

[參考] Vi *pagos* malbonon *por* bono. (FK 32/-6) 善に報ゆるに惡を以てす。

Rim. En la ekzemplo: „Nur la dubo malbonon povas fari el la bono“ (IT 40/17) la verbo „fari“ estas „fari“ de Produkto=„ŝanĝi la bonon en malbonon“.

Sekve nur **malbonaĵon** (=malbonan faron aŭ agon) vi **faris**. (FI 119/12) してみると悪いことばかりしてゐたのだね。(ank. vd: FK 173/-3)

Mi ne **faris malhonestajon** (malhonestan faron) (M 69/10) 僕はやましい事はせぬ。

La rabo de malvirtuloj atakos ilin mem, ĉar ili ne volis **fari justaĵon** (=justan faron).

(SS 21-7) 不徳漢の奪掠はその身にかへる、何となれば彼等正しき行ひをすることを欲せざりしなればなり。

Ne **faru maljustaĵon** (=maljustan faron) en la juĝo, en mezuro, en la peso, en la amplekso. (Lv 14-17) 裁判や、升目、量目や寸法を測るのに不正をなす勿れ。(ank. vd.: FK 156/19: OV 364/27; M 229/2)

La knabineto al neniŭ **farus** iam ian **malagrablajon**. (M 33/13) その子は誰にも少しでも失禮な事をすることはありませんまい。

Vi aŭskultos la voĉon de la Eternulo, via Dio, observante ĉiujn Liajn ordonojn, **farante plaĉantaĵon** antaŭ la okuloj de la Eternulo, via Dio. (Re 13-19) 汝の神、主の御命令を守り神の目前によみし給ふべき行をすることにより神のみ聲を聴くであらう。

Ŝi ĉiam estas preta **fari** la **ĝustaĵon** en ĝusta tempo. (BV 25/12) 彼女はいつでもすぐ様うまく臨機應變の處置がとれる人でした。

Malpacienculo **faras malsaĝaĵon**, kaj malbonintenculo estas malamata. (SS 14-17) 氣短き者は馬鹿な事をやり、腹黒き者は憎まる。(ank. vd.: 5/-3; H 78/2)

Mi petas vin pardonon al mi la **sensencaĵon**, kiun mi **faris**. (GD 50/20) まことにつまらぬことを致しまして申し譯がございません。

Li dormis kun ŝi kaj **faris** al ŝi **perfortaĵon** (=perfortan agon). (Gn 34-2; ank. vd.: OV 318/-9). 彼はその女と寝て暴行した。

Li **faris mirindaĵon** (=mirindajn farojn) antaŭ la okuloj de la armeo. (Rt 47/2) 彼は軍隊の面前で奇蹟を行つたのだ。

Rim. Ankaŭ „fari laboron (=faradon, agadon)“, „fari perforton (=perfortaĵon, perfortan agon)“, „Fari miraklon (=mirindaĵon, mirindan faron)“, „fari krimon (=kriman faron)“ ks. povus veni sub tiun ĉi kategorion de „fari kun samoriaina komplemento“, sed ĉar ili ankaŭ estas parafrazeblaj per „labori, perforti, mirakli, krimi“ ks., ni klarigos pli poste en la paragrafo de „fari en verbaj frazeroj“.

ツル本とザラ本

KAWASAKI-N.

1. ツル本とザラ本

Z. の tradukaĵoj で20世紀になつてそして戦前にでたのわ Paris の Hachette 書店からで、La Revuoに一度でたのを単行本にしたのである。紙わいわゆるフランス紙でツルツルで厚いもの、戦後の Esperantista Centra Librejo の重版ものわザラザラの紙である。前者を私わツル本、後者をザラ本と名づける、ツル本わ La Revuo の紙型を利用したのがあつたらしく、teksto わかなり正確だ。ザラ本を刷るときにまた Z. の原稿を見てやつたのかどうか私わ知らない。もし原稿を見ないで、ツル本を見てやつたのなら、teksto の aŭtentikeco にわザラ本わなんの役にもたたない。ザラ本わツル本より誤植が多いそうだ。Batalo de l' Vivo と Hamleto わ19世紀にすでに發表されたもので、後者にわツル本もあるが、前者わイギリスから出版されて紙の質が異なる。このツルツル紙が戦後まであつたかどうか私わはつきり知らないが、1921 年春、

私の買った Fundamenta Krestomatio の oka eld. わザラザラでわないが、さりとて厚手のツルツルでもなく、薄いツルツルである。Jarlibro de UEA, 1927 に Verkaro de Z. の寫眞があるが、Rabistoj と Revizoro だけが Hachette 版で、他は Esperantista Centra Librejo 版になつてしまつている。私が Esp. をやり始めたころわちようど何盛三さんが極東エスペラント書院をやつておられた當時で、私わツル本をみんな買い集めることができた、ただ Ifigenio のみが、品切でなかつた、他人のを寫そうかと思つたくらいであつたが、ザラ本がでた。Rabeno de Baĥaraĥ と Fabeloj わザラ本の單行本しかでていない。ツル本とザラ本の異同を比較校定した表が發表されたら、ザラ本でもよいわけだが、ツル本のほうが正確なのだから、できるだけ古本でもツル本を探して使用したほうが得である。單行本で別々にでた舊譯聖書の 8 冊なんかわツル本だけしかなく、それもいまほとんど手に入りがなくなつている、La Sankta Biblio 中にあるのわ Biblia Komitato が猛烈に手を入れて直したものだから、Z. の plumo を見るにわツル本がぜひ必要である。La Revuo のそれとツル本とわ完全に同じだとわ對校したうえでないといえない。違つているところもある。ザラ本でもいろいろの出來不來があり、Fabeloj なんかわ unua eld. を dua eld. が直しているが、また新な prezeraroj もあり、Rabeno わ dua eld. がずつとよくなつている。

Georgo Dandin わザラ本わツル本の誤植をそのまま受ついでいる。折印わ兩者異なるが、あるいわ同一紙型であらうか??

2. Indekso と konkordanco

Z. の indekso や konkordanco の仕事がヨーロッパでも東京でも大阪でもドンドン進行していると聞く、私わ早くそれらの結果を見せてほしくてならない。著者それぞれの文法的識見のあらわれる konkordanco わもちろん結構だが、現在の急務わどの語がどの本の何ページにあるかだけを知らしてくれる indekso のほうだろう。私にわ indekso のほうをさきに發表してもらつたほうがありがたい。私の文法的研究に利用するのにわ indekso のほうが便利だとゆう私の個人的理由においてことにしかりである。Konkordanco だと自分のやろうと思つている事柄がちようどあれば、もはや自分でやらなくてすむのでこれほど結構なことわないけれど、文法的識見がどうせ異なるのだから、自分のまとめようとする principo がかならずしも他人の konkordanco にでているわけわない。

Wüster わ 1920 年に自分の辭書の原稿ができていたのだから、それまでに indekso が出來あがつていたに違いない。辭書すら第 5 卷を出版できないのだから、konkordanco わでそうもない。Bailey も自分でわちやんとわかつているのだが、印刷にならない。Butler, Scott もそうだし、他にもこんな人があると思ふ。研究家わ自分の研究の必要があるから、人のこしらえるまで待つてゐることわできない。が世界各地で同じ仕事をするなんか勞力の經濟上馬鹿げたことである。日本よりも資料の豊富なヨーロッパでとつくの昔當然でゐるべきものである。國際的に仕事の統制連絡をもつととつてできているものわドンドンだせる工夫をしたいものである。必要なわ Z. のだけでない。Grabowski もそうだし Kabe もそうだ。

3. カ ー ド

Indekso をこしらえるのにわ本の單語を一々切り抜いてカードにはればたしかだとある人に聞いたが、こんなことをしてカードがどれくらいいるだろう。ごく大ざつばにかぞえて見る。

Originala Verkaro わ 600 ページある。かりに 1 ページ 44 行、1 行 10 語として算えると 264,000 になる。Fabeloj 3 巻わ 152; 154; 153 ページだが、1 ページ 40 行、1 行 12 語としてみると、219,840 になる。他の本を全部あつてみると 600,000 を越えるようである。で Z. 全体では 1,000,000 を数千あるいわ數萬越えるのでわないかと思われる。

4. Scipovi

佐々城、岩下校定、Z.-Paroladoj, 1932 の Rimarkoj に「Ĉi tiu vorto estas alia provilo por distingi Z.-econ. Z uzis povoscii kaj preskaŭ neniam scipovi, kiel oni vidos en la sekvanta listo」とて povoscii を 126, scipovi を Rabeno de Baĥaraĥ に 1 だけとしている。しかしこの推定わ危険でわなかろうか？誤植にしてわ念がいりすぎているし、誰か他の筆になつたのかとするのであろうか？佐々城らのここにあげてない Z. の資料がある。それわ Rakontoj el la Biblio laŭ la traduko de D-ro. L. L. Zamenhof, Brita Esperantista Asocio, 1921 で Biblia Komitato で Z. の manuskripto が猛烈な改訂を受けている間に、Z. の plumo ままのものがすこしばかり British E-isto に連載された、それを單行本にしたのである。これをみると p. 35 に scipovas が 2 回、scipovado が 1 回ある。この場所わ La Sankta Biblio でわ I. Samuel 28 の 7 と 8 で、povoscias, povoscio と直されてある。povoscii と scipovi とが意味を異にして使おうとゆう意思、あるいわどちらが preferinda かの意見わともかくとして、Z. の plumo に scipovi がなかつたと單に統計で推定するのわどうかと思われる。「一輪咲いても花わ花」だ、いわんや 4 輪においてや。とここまで 20 febr. 1936 に書いたのだが、その後さらに資料が手に入つた。Bailey からの手紙によると La Revuo にでた Marta わ全部 scipov であるが、ツル本で povosci と變つてゐるとのことである。Marta にわこの語わ 27 回でてくる、Marta にでたのが一番古いのだから Z. の最初使つた形わ scipov で、後 povosci に説を改めたのであろう。残る問題、なぜ Rabeno に povosci が 3, scipov が 1 あるのだろう。なぜ 1 だけ残つてゐるのだろう。

Plena Gramatiko 紹介 (4)

[Kalocsay, Waringhien 共著 Plena Gramatiko の本文を要約して紹介す。紹介者の批判は脚註の貌でなす]。

岡 本 好 次

B. Vortkunmeto (語合成)

[紹介者註:—この理論が Kalocsay 独自の理論であつて、賛否さまざまでエスペラントロジーオ界に相當の議論をまきをこす部分である。そのつもりで讀んでもらひたい。この理論を鵜呑みにしては困る。但し面白い説明もあるしこじつけもあるが大いに参考にはなる。]

Duelementaj kunmetoj (二要素合成)

17. 一般法則——エス語における語合成は合成語の研究によつて認めらるゝ如く或種の一般法則に従ふ。

1. 語合成に於て主たる語 (ĉefa vorto) は末尾におかれ且其合成語の文法語的範疇 (grama-

tika vortkaraktero) と主要意義 (ĉefa senco) を決定する。それを**主要素** (ĉefelemento) とよびその前につく要素群は主要素の特徴づけのために役立つのみで之を**副要素** (flankelementoj) とよぶ。

例へば dormo-ĉambro に於て 主要素は ĉambro であつてこれが文法的の範疇(名詞)を決定し且その合成語の主要意義(場所を示すといふ)を決定す。副要素 dormo はその ĉambro が dormado のために用ひられることを示し特徴づけに役立つ。

2. 語尾がもし pleonasma* であれば語合成の見地からこれを無視してよく、かゝる場合には主要素は語尾の前の語根である。しかし語尾が proprafunkcia* であればそれは獨立語と見るべきでこの場合は proprafunkcia finaĵo 自身が主要素であつて語尾の前の語根は副要素である。

例へば marteli に於て主要素は i といふ語尾 (これは agi といふ意味を有す) であつて語根 martel はその ago が martelo によつておこることを示す副要素にすぎない。

注意: 上の 1. の法則の例外は et, eg, aĉ の三つの眞接尾字である(後述)。

18. Reguloj de vortefiko* (語效果の法則): — 主要素は自分の文法的性質によつてその語の意義を定めるのみならず副要素の文法的性質をも決定する。即ち主要素は副要素に副要素自身持つてゐない vortkaraktero を與へることによつて影響(efiki) する。

この關係に於てエス語の語の用法を究明すると次の法則を獲る。

I. 名詞的主要素は其前の副要素を名詞化する。

II. 形容詞的主要素は其前の副要素を名詞化する。

即ち名詞的又は形容詞的主要素の副要素は常に名詞である。故にもしこれらが他の性質をもつてを つても主要素の影響によつて名詞的の性質ををびる。

III. 動詞的主要素は副要素に對して二様に働く、

1. 副詞化する。

2. 形容詞化する(それを自分の predikata adjektivo とすることによつて)。

注意 I. (右より左へ行く)かゝる語效果(vortefiko) を rekta vortefiko とよぶ。その逆のものを inversa vortefiko とよぶ。

注意 II. 副詞的副要素は副要素が形容詞的性質をもたずして名詞的又は動詞的性質を有する場合又はそれが接頭字又は前置詞なる場合には動詞的主要素の前に甚だ屢おかれる。(martelbati; pafmurdi; ekkuri; preteriri) 形容詞語根から誘導された副詞は常に獨立して立つ(例 diligente labori, bele skribi, bone farti)。

上の三法則によつてエス語の語合成が行はれる。

備考: 以下便宜上上の三法則を VER I, VER II, VER III 1, VER III 2 と略して示す。

注意 III. 眞接字及び少數の prefiksiĝemaj な語は上の法則に従はぬ。(§ 132-149 で述)。

19. 名詞的主要素 (substantiva ĉefelemento).

名詞的主要素は前の副要素を名詞化する。(VER I)。而してこの合成を次の三様に分解できる。

1. 副要素は關係 (rilato) 又は從屬を示す。これを前置詞 de で分解できる。(分解 R とよぶ。)

* 前回紹介 §11 參照 (本誌 p. 142)

例: homkoro=koro de homo, lumradio=radio de lumo, varmenergio=energio de varmo, skribmaŝino=maŝino de skribo.

2. 副要素が材料 (materialo) を示す。これを前置詞 el で分解す。(分解 M とよぶ)。

例: orĉeno=ĉeno el oro, ŝtonponto=ponto el ŝtono.

3. 副要素が名詞的形容言 (subst. epiteto) である場合。この場合は單に傍に置くだけでよい。(分解 E)。

例: membro-abonanto=membro abonanto, tajlormajstro=tajloro majstro.

上の分解の場合形容詞語尾 a を用ひても示される。(例: orĉeno=ora ĉeno)

併しこの場合 a は性質を示すのでなく關係を示す場合の a である(だから形容詞語根の語尾につく a ではだめである。)それで varmenergio, belamo, voluptamo を varma energio, bela amo, volupta amo と分解してはだめで energio de varmo, amo de belo, amo de volupto とせねばならぬ。それから又これを逆に言つて blua okulo, bela knabino といふのに bluokulo, belknabino は語合成の法則に合致しない。

20. Substantivaj sufiksoidoj — sufiksoido と radiko とにちがひがないから上述と同一。

例: belisto=isto de belo, densejo=ejo de denso, banujo=ujo de bano.

常に分解 R により ano, ero, ido, ingo, ismo, isto, estro, ujo, ilo, ejo が結合す。常に分解 E により ino, ulo, eco が結合す。

21. o-finaĵo.

A) 形容詞的語根の後にくると 1. 抽象物 (例: belo), 2. 具象物 (例: beloj de l' regiono), 3. 性質 (sia belo estis eksterordinara), 4. 人物 (mia kara, mia belo...), を意味する。但し kuntteksto の助なしにはこれは混亂をきたすから普通は 1. の意味のみ。2-4 は夫々の sufiksoido を用ひて示す。(即ち 2. belajo, 3. beleco, 4. belulo)。

B) 動詞的語根の後にくると 1. 動作の名 2. 動作の結果物。

C) 前置詞の後にくると具象物を示すことが多い。

D) 接頭字及相關詞の後にくると C) と同様。

E) 間投詞の後にくるとその間投詞の名を示す。

F) 接續詞の後に o を附加しないで名詞的に代用することが多い。

G) 數詞の後にくると量を示す。

22. 形容詞的主要素 (adjektiva ĉefelemento)

形容詞的主要素は前の副要素を名詞化する。je で分解する。

例: herbriĉa=riĉa je herbo, prespreta=preta je preso, sangavida=avida je sango.

注意 I. 屢副要素が副詞である。併しこの場合二語を一語にして書いたにすぎぬ。例: ore-purpura, komune-homa. この場合 e なる語尾と連字符 (-) をのこしてをく。

注意 II. 他の場合單に傍に置く場合がある。例: germana-franca vortaro, standardo ruĝa-blanka-verda. この場合語尾 a と連字符 (-) をわすれてはならぬ。

23. adjektivaj sufiksoidoj — (em, ebl, ind, end, iv, oz, esk.) — VER II による。

例: parolema=ema je parolo, portebila=ebla je porto.

24. a-finaĵo.

形容詞語尾 a は 1. 關係、2. 性質の二方面を意味する。それ故

A) 名詞的語根の後にくると 1. 關係、從屬 (例: reĝa palaco, kotona industrio) を示し (この際二語を合成してもよい)。2. 性質を示す。

B) 動詞的語根の後にくると a は形容詞的主要素だからその前の語根を名詞化する性質があるから結局その動詞的語根を名詞化してそれに附加されることになる。即ち verbo-adjektivo は verbo-substantivo-adjektivo である。(例: skriba は skribo-a)。

扱 1. 関係、従属を示す場合 (例: nutra problemo)

2. 性質を示す場合に二あり。

a) 性質としての動作は emo, kapablo, povo を示す。(例: nutra manĝaĵo) この場合 pova, kapabla, iva, ema 等をつけるとよくわかる。

b) 動作をなすものに冠せられる。この場合動作が能動的と受動的の兩方に解される。

(例: konsterna sciigo = konsternanta sciigo; ĉagrena koro = ĉagrenita koro)。かく兩様に解される故文の前後の事情によつて之を用ひうるがそうでない場合は一般に分詞接尾字をつけて用ひるがよい。

C) 前置詞の後にくると estanta ~ の意 (例: antaŭa = estanta antaŭ)。(例外: pera は peri より來たもの)。

D) 接頭字及準接頭字 (dis, ek, eks, for, fi, mal, bo, ge, re) は形容詞的語根の如く見てよい。

E) 原始副詞 (preskaŭ 等) は形容詞的語根の如く働く。morgaŭ, hodiaŭ, hieraŭ は名詞的語根の如く働く。

F) 數詞の後にくると順序數を示す。

25. 動詞的主要素 (verba ĉefelemento)——主要素が動詞の時は副要素は

1. 副詞になる——例: laŭtlegi = laŭtelegi, kunludi = kuneludi, rondiri = rondeiri.

2. 述語形容詞となる——例: ruĝpentri = pentri ruĝa, disiri = iri disaj, mortpafi = pafi morta.

26. verbaj sufiksoidoj——(igi, iĝi, izi, 名詞語根の後の ad)——igi, iĝi は VER III 2. により、izi, ad は VER III 1 による。

例: beligi = igi bela, sidiĝi = iĝi sida, ŝtonizi = izi ŝtone [per ŝtono]; martelado = ago i martele [per martelo].

27. 動詞的語尾——VER III によつてはたらく。即ち副要素が副詞なら agi 又は funkcii の意であり述語形容詞なら esti の意である。

A) 名詞的語根の後にくると動詞語尾はその語根を副詞化する。即ち、

1. 名詞的語根が ilo 又は korparto を示す時は agi, funkcii per の意となる。(例: marteli = i martele = agi per martelo; brosi, butoni...)

2. 名詞的語根が他の事物を示す時は provizi per の意となる。(例: gudri, vesti, adresi, doti).

3. 少數の語根に於て i は agi karakterizate de の意。(例: flami, nesti, vorti).

4. persono を示す語根に於ては agi kiel の意。(例: reĝi, majstri, patri)。

B) 形容詞的語根の後にくると副要素は述語形容詞となる (例: avari = esti avara; nigri, necesi, sufiĉi...).

C) 前置詞の後に於て動詞的語尾はそれを述語形容詞の如くする。

例: antaŭi = esti antaŭa.

D) 他の要素(接續詞等)の後にくると agi (funkcii) per の意。例: jesi = agi per jes.

28. 副詞的主要素 (adverba ĉefelemento)——副詞は形容詞に誘導できるから唯副詞的語尾 e 以外について特にのべる必要がない。次に e についてのみのべる。

e-finaĵo

形容詞と副詞は親類筋であつてたゞ前者は名詞に後者は動詞又は形容詞につく、だから副詞

を形容詞にすればそれについてある動詞又は形容詞を名詞にすればよいのである。(forte bati — forta bato; tuj veni — tuja veno, pale verda — pala verda).

A) 名詞的語根の後にくると laŭ maniero de の意。例: reĝe=laŭ maniero de reĝo.

B) 動詞的語根の後にくると。

1. per の意。例: murdi pafe=murdi per pafon.

2. kvalite の意。例: skribi stare=skribi starante.

a) 能動的。helpe=helpante.

b) 受動的。例: miri konsternite=miri konsternite. rigardi ekscite=rig. ekscitite.

C) 前置詞の後にくるとその前置詞の意味が述語に關係することを示す。(antaŭe, apude, pretere)

D) 原始副詞の後にくると e は不要である。

紹介者申す; B. Vortkunmeto の項次回で終り。Plena Gramatiko の紹介この邊は大分詳しいですがそれはこの部分が同書の基本的の總論的説明の部分だからです。各論的の所は簡単にきりあげます。本紹介は同書を読まれる方にも参考になりませうし同書をもたぬ方にもうる所があると思ひます。

新 刊 紹 介

BIBLIOGRAFIO

Seditajn po 2 ni recenzas

Unuope ricevataj estas nur menciataj

- ◎ 目下現品を取寄中のもの
- 將來取寄せる見込のもの
- ▲ 目下學會に在庫あるもの
- ★ 取次がぬもの及び非賣品

自 然 科 學

✓▲ **ASTRONOMIO**, de Joĉasien, eld. de la aŭtoro, 1935: 9.5×17.5, 24 p. 定價 15 錢, 送料 2 錢。

“Unua Paŝo al la Vojo de Scienco” 叢書第 1 編として出されたもの。天文學に關する極めて初歩的な知識を、十數個の挿畫入りで説明したもの。中等程度の講習會の變つた副讀本として使ふに手頃であらう。(M.-Ŝ.)

★ **JAZAKI, Humito** (矢崎富美人): **Pri la fluidonerva meĥanismo en la salivosekrecio** (唾液分泌=於ケル體液神經性分泌機轉=就イテ); 消化器病學 第一卷第三號, 2 p. 25×17.5 cm., 1936.

S-ro H. Jazaki ĉe P-ro S. Okada en Internmedicina Fakolito en Nagoja Medicina Universitato faris ĉi-supran studon, kies resumo estas en Esp. La aŭtoro estas tre fervora medicinisto. (O.)

✓★ **ŬATANABE, Takaŝi** (渡邊隆志): **Terminaro de civil-inĝenierado** (Japano-Esperanta) **Aplikita mekaniko, Parto I**, 1936, 17×24.5 cm. 6 p., eldonita de Esperantista Asocio de Tomakō-Gradiĝintoj.

Prof. J. Ŭatanabe en Tojama Inĝenierarta liceo antaŭe publikigis Terminaron de Mezu-

rado, nun tiun de Aplikita Mekaniko. Ni devas laŭdi lian laboron kaj alifakaj samideanoj nepre devas sekvi la bonan ekzemplon. (O.)

★Mikaelo Gitterman: **Normigo** (skizo). tradukis el rusa ling. A. Samojlenko, eldonita de Ekrelo, 1936, 15.5×22 cm., 16 p.

規格統一術語劃一化についての一般概念を與へ又各國の劃一運動について簡単にのべ併せてソ聯の劃一について手前味噌をならべ kapitalisma normigo と socialisma normigo とは大きにちがふと吹きまくつたもの。

運 動

★JUBILEUMBOEK, eld. de Federacio de Laboristaj Esperantistoj en la Regiono de Nederlanda Lingvo, Amsterdam, 1936; 16×24 cm. 160 p.

和蘭語地域労働者エスペラント聯盟創立(1911)25周年紀念として發行されたもの。光澤ある厚手の紙に寫眞多數入りで印刷してある。全文オランダ語であるため、讀んで、その内容を批評するといふわけにゆかないが、統計にあらはれた數字によつてみるに、最近數年間におけるこの聯盟の躍進はめざましい。即ち、1927年にはわづかに75人であつた會員が、1929年には450人、1933年には、2321人、1935年末には、實に3953人、まさに4,000人におよぼうとしてゐる。(M.-Ŝ.)

★JARLIBLO DE SFE, 1936, eld. de Sveda Esp.-Federacio, 1936; 13.5×20 cm. 72 p.

内容は、1935年度の事業および會計報告と會員の adresaro でかるが、會員の増減の統計も、上記オランダ労働者エス聯盟とほとんど同様な輝かしいカーブを見せてゐる。1925年 255人→'30年 800人→'31年 1628人→'35年 2681人。(M.-Ŝ.)

學 習

★THE ESPERANTO GRAMMAR according to "Petro", de N. Bartelmes, eld. de Nia Bulteno, 117 N. Bunker Hill Ave., Los Angels, Calif. U.S.A. 1936; 12×17 cm. 23 p.

SAT 發行の"Petro"によつて基礎的な文法を教へる仕組にしたもの。外觀は、謄寫版刷の貧弱なものであるが、"Petro"によつてエスペラントを教へる者にとつて、手頃の參考書となるであらう。(M.-Ŝ.)

觀 光

★AŬSTRIO, eld. de Österreichische Verkehrswerbung, Wien, 1., Nibelungengasse 4, 1936; 11×21 cm. 24 p.

毎年オーストリア交通省から出されてゐる"Aŭstrio"の1936年版。例によつて、多數の美しい寫眞と、詳細な地圖入りの美本。上記あて申込みば送つてくれる。

★LYON, eld. de Syndicata d'Initiative, Lyon, 1936; 18×13 cm. 36 p.

グラビア印刷の毎ページ全面寫眞版入りの美しい案内記。各寫眞にはフランス語で短い説明があたへてあり、それに対して、別のページで、ドイツ語、イタリー語、エスペラントの三つの言葉の譯があたへてある。

★ĈU VI KONAS ITALION?, de Ente Nazionale Industrie Turistiche, Ferrovie dello Stato, Romo, 1936; 14×19 cm. 32 p.

イタリ政府では、新聞宣傳省がラヂオを通じてエスペラントによる國情紹介を盛んにやつて

るが、鐵道省でもそれに劣るまいといふところからか、觀光局から、今度新しく、この案内記を出した。表紙は五度刷、内容はオフセット刷、各頁寫眞一個乃至二個入り、それに美しい線畫のカットを配し、寫眞版も從來の名所エハガキ式のものでなく、非常に新鮮味に富んだもので、いまいままでに出たエスペラント文の案内記中最も美術的なものと言つてよいであらう。また内容のえらび方もすつきりしてゐて、この種案内記の模範とするにたるものである。(M-Ŝ)

文 藝

▲**KUDLAGO**, de N. van Hichtum, trad. de S. D. Mannoury, eld. de Eldona Societo Esperanto, Stockholm, 1936: 12.5×18.5 cm. 40 p. 定價 50 錢、送料 2 錢。

エスキモーの少年——一人まへの男としてはじめて取扱はれるやうになるころの——生活を描いた少年の讀物。物語そのものは、少年向きであるが、そこに描かれたエスキモーの生活は、大人が讀んでもおもしろい。どういふ風にして海豹や熊を狩るか、橈や舟は、どうして作るか、氷の家はほんたうにあるか、その氷の家の中ではどんな生活が行はれるか——そして何よりも、いつたい、こんな自然に最もめぐまれない國を、エスキモーはなぜ捨てようとしなかったか——などといふ、われわれの好奇心を満足させてくれる。(M-Ŝ)

▲**HOODJOOKI**, de Kamo no Tjoomei, trad. de K. Nohara, eld. de Esperanto-Kenkjuŝa, Tokio, 1936: 11×15.5 cm. 32 p. 定價 20 錢、送料 2 錢。

鴨長明の「方丈記」。日本文學の古典には海外へ紹介したいものが澤山あるが、エスペラントにあまり譯されてゐないのは残念である。この「方丈記」なども、もつと早く出てよかつたものであるが、なにぶんにも、その短かさに反比例して翻譯に困難な文章であるためか、まだ譯されてゐなかつた。老練野原氏の手によつてこの譯が世に送られたことはよろこぶべきことである。すらすらと、よく原文の趣きを傳へてゐる。(M-Ŝ.)

■**ĈU ĜI ESTAS NUR FABELO?**, de Jan Wolski, trad. de Roman. Dabrowski, eld. de Esperanta Eldon-kooperativo, Varsovio, 1935: 13.5×19.5 cm., 157 p.

少年少女の讀みものとして書かれたものでユーモアに富んだ物語であるが、標題で示してゐるやうに單なる童話であることを意圖して書かれたものでない。著者は多年産業組合事業に従事する人、これは、その仕事のひまひまに、その實生活から得た材料によつて書いたもので、これによつて若い人々の心に、産業組合の精神を植付ける意圖によるものである。譯文にはかなりぎごちないところがあるが、少年少女物語に適するやうにとの努力の拂はれたあとがうかがはれる。(M-Ŝ.)

精 神 科 學

▲**Akegarasu-Haja** (曉鳥敏): **La Japana Spirito**, tradukita de Oohaŝi-Kaiziro 10.5×15 cm., 12+92 p., 1936, 價 50 錢、税 2 錢、石川縣石川郡出城村北安田、香草舎發行。

曉鳥敏氏は佛教學者として獨特の地歩をしめる巨峰。大橋氏は *Argenta kunsido* の創立者としても元學會評議員としても有名目下京都に在住。しかも大橋氏が心酔する曉鳥氏の「日本精神」をエス譯したのだから申分はない。(本野精吾氏川崎直一氏が種々助言したとの事。) 曉鳥氏に共鳴すると否とに拘らず一讀をおすゝめする。(O.)

La aŭtoso S-ro Akegarasu estas tre fame konata budaologo en Jap. Ĝi pritraktas japanan spiriton sur la vidpunkto de japana budaismo kaj japana mito. Interesa libro precipe por alilandanoj.

TAKETORI-MONOGATARI

(竹 取 物 語)

(6)

Aŭtoro nekonata
Eljapanigis Masami IGARAŜI

VII. La ciprea konko de hirundo.

Ĉiunagono Isonokami-no-Marō ordonis al la viroj, kiuj servas en lia domo.

“Sciigu al mi, se hirundoj nestiĝos.”

Responde lin ili demandis:—

“Por kia intenco, nia moŝto?”

“Mi intencas akiri ciprean konkon, kiun posedas hirundo,” li respondis.

La viroj rediris:—

“Se oni mortigas multe da hirundoj, oni ne povas trovi ĝin en ilia ventro. Tamen supozeble ili aperigas ĝin iamaniere, kiam ili naskas idojn, sed ili ja forflugas rapide, apenaŭ homoj vidiĝas.”

Plue iu el ili diris aldone:—

“Hirundoj nestas ĉe ĉiu truo de la tegmentorando de la kuirejo de la Oficejo por Kuirado. Tie oni kolektu viglajn virojn kaj konstruu sidejon (*agura*), por ke oni povu observi akuŝadon de hirundoj. Tio helpos nin por akiri la konkon.”

Ĉiunagono tre ĝojis kaj diris:

“Estas interese! Mi neniam povis eĉ konjekti tion. Estas tre interese dirite!”

Kaj li ordonis al dudek viglaj viroj iri kaj resti sur trabaro ligita per linŝnuro. Ĉiunagono tre ofte sendis homojn por demandi pri akiro de la ciprea konko. Eble la hirundoj ne alflugas al sia nesto timigite pro amaso da homoj observantaj — tian respondon la sinjoro ricevis kaj suferis trovi bonan rimedon. Tiam maljuna oficisto de la kuirofacejo nomata Kuracumaro diris:—

“Mi havas planon akiri la ciprean konkon.”

La maljunulo iris al Ĉiunagono kaj ĉi tiu akceptis lin vizaĝo kontraŭ vizaĝo.

Kuracumaro ekparolis:—

“Por la ciprea konko via moŝto malbone aranĝis, do, neniel povos akiri ĝin. Sur la trabaro estas dudek homoj tumulte, kio kaŭzas minacon al la hirundoj kaj ili ne alflugas. Bonvole ordonu disrompi la trabaron kaj forigi ĉiujn homojn. Nur unu vigla viro estu en korbo, al kiu oni alligu ŝnuregon, kaj oni streĉu ĝin (kaj levu la korbon), kiam la birdoj naskas idojn, kaj li subite prenu la ciprean konkon.”

“Bonega plano!” diris Ĉiunagono.

Oni detruis la trabaron kaj ĉiuj venis returne.

Ĉiunagono demandis al Kuracumaro:—

“Kiam hirundoj naskas idojn kaj kiam oni levu viron?”

Kuracumaro respondis:—

“Kiam hirundoj akuŝas, ili sep fojojn turniĝas kun levita vosto. Do kiam ili turniĝos sep fojojn, oni levu la viron kaj li prenu la ciprean konkon.

Kun granda ĝojo Ĉiunagono iris ŝtele al la Oficejo sciiginte tion al neniu kaj inter la viroj penadis eĉ en nokto, samkiel en tago, por akiri la konkon. La vortoj de Kuracumaro kaŭzis tiel grandan ĝojon al Ĉiunagono, ke li demetis sian surtuton kaj donis ĝin al li, dirante:—

“Kvankam vi ne estas servanta en mia oficejo, vi afable helpis mian deziron.”

Kaj li aldonis diri al li:—

“Refoje venu al ĉi tiu oficejo en la nokto.”

Vespero ekregis kaj la sinjoro iris al la kuirofacejo kaj vidis, ke hirundoj nestas efektive. Kiel Kuracumaro diris, la birdoj komencis sin turni levante la voston, oni levis viron en korbo por serĉi per mano en la nesto de hirundoj. Baldaŭ revenis respondo:—

“Nenio troviĝas.”

“Tio rezultas de malbona serĉado,” kolere kriis Ĉiunagono kaj daŭrigis:—

“Kiu kapablas por tio? Nun mi mem volas serĉi suprenirante.”

Li en la korbo supreniris kaj observinte li trovis, ke la hirundoj sin turnadas multfoje levante la voston; tiam li etendis sian manon en la neston kaj tuŝis ion platan.

“Jen mi kaptis ion, mallevu min rapide. Ja trafis la vortoj de la maljunulo!”

Oni kolektiĝis kaj streĉigis la ŝnuregon tiel forte por mallevi lin rapide, ke la ŝnurego rompiĝis. Ve, la sinjoro falis kapon malsupre en la kaldronon de Jaŝima. Tute konsternite, oni tenis lin flegeme. Li kuŝis svena kun la okuloj blankaj. Akvo estis verŝata en lian buŝon kaj li apenaŭ regajnis sian spiradon. Oni kondukis lin malsupren de la kaldrono, tenante lin ĉe mano aŭ piedo.

Iom poste oni apenaŭ eldiris la demandon:—

“Kiel vi sentas vin?”

Li respondis kun malfacila spirado:—

“Mi iom regajnis forton, sed la talio al mi moviĝas ne facile. Tamen, mi estas ĝoja akirante la ciprean konkon en la mano.”

Li levis sian kapon kaj malfermis la pugnon, ho ve, la aĵo estis nenio alia ol malnova ekskremento de hirundo. Tiam li kriis malespere:—

“Ho ve, finiĝas mia laboro en vano!”

Post tiu ĉi epizodo oni ekuzis la esprimon “*kainaŝi*”¹⁷⁾ por la senco: io iras malbone kontraŭ la plano.

Ĉar jam estis pruvite, ke la objekto ne estas la konko, Ĉiunagono kompreneble ne kuraĝis meti ĝin en la kovrilon de ĉinstila kesto; plie li ricevis doloron ĉe sia talio. Li

17) “*kainaŝi*” japane signifas dusence: “estas vene aŭ senutile” kaj “sen konko.” Unu el la burleskaj vortludoj.

penadis kaŝi al la publiko, ke li estas malsana kaŭze de tia bagatela afero, kio pli malfortigis lin. Tagon post tago li timis morkridon de aliaj pli forte, ol li malĝojis la neakiron de la konko — grandan honton al li kaŭzis ricevi la mokon, ol eĉ morti de nura malsano.

Kaguja-hime, aŭdinte tion, sendis utaon por konsoli lin:—

Ne venas ondoj

Al pino jam kaduka

Ĉe la marbordo.

Ĉu same via plano

Finiĝis en malordo?

Kiam li aŭskultis la utaon legitan, li levis sian kapon en malforta movo kaj apenaŭ skribis utaon kun doloranta koro sur papero tenata de alia:—

Ricevis mi nun

“La konkon” al la koro

Per ŝia vorto.

Ve, ŝi jam ne min savas

Forlasi for al morto.

Fininte skribi, li spiris sian lastan spiron. Kiam Kaguja-hime aŭdis tion, ŝi sentis iom da kompato al li. De post tiam oni ekuzis la vorton “kaiari”¹⁸⁾ por “ricevi iom da redono.”

18) “kaiari” japane signifas dusence: “ricevas redonon, resonon, ktp. (por laboro ktp.)” kaj “troviĝas konko.”

Kiamaniere malnovaj japanoj antaŭvidis la veteron?

(Fino)

T. TAGUĈI

V. Vivaĵa Metodo.

La antikvaj japanoj trovis multajn antaŭsignojn de la veterŝanĝo en la vivmaniero de birdoj, insektoj, bestoj, plantoj kaj aliaj. Sed mi ne montras ĉiujn materialojn ĉi tie, ĉar la multeco de la vivaĵ-specoj kaj ĝenaj observmanieroj sufiĉas ĝeni la legantojn. Do mi prefere nur nomas la nomojn de la vivaĵoj uzitaj por veterantaŭdiveno.

Bestoj—Ĉevalo (I) (Is) (F) (A); Kato (I) (Ok) (Is) (N) (F) (Ng) (C) (T); Hundo (I) (Is) (F) (A) (T); Bovo (Is); Baleno (A); Vulpo (A); Urso (*); Lutro (*); Lutreolo (T).

Fiŝoj—Fiŝo (I) (Ok) (N) (F) (C) (Ng) (T); Karpo (*); Orfiŝo (**).

Birdoj—Birdo (A); Koko (Is) (O) (N) (F) (T) (Ch); Kolombo (I) (T); Milvo (I) (F) (T) (Ng) (O) (U); Alaŭdo (I) (O); Korvo (I) (Is) (N) (Ng) (T); Lanio (I); Maraj birdoj

(I); Hirundo (Is) (F) (Ng) (T); Asturo (Is); Strigo (F) (Ch) (O); Pasero (F) (Ng) (T); Gruo (*); Pirolo (*); Troglodito (T); Kukolo (*); Fazano (T) (U); Grafofazano (T); Hijodori (*Microscelis*) (Is); Onagadori (*Gallus domesticus*) (I).

Insektoj—Cikado (I) (T); Araneo (I) (Is) (F) (T); Muŝo (I); Moskito (I) (Is) (F) (O); Libelo (I) (Is) (N) (F) (Ch); Formiko (Is) (Ng) (A) (T) (Ch); Flugformiko (T); Tabano (A); Abelo (T); Talpogrilo (I); Cikado-Higuraŝi (*Tanna japonensis*) (F); Pulo (Is) (T) (Ch) (I); *Hataori* (*Tryxalis masuta*) (Ng) (*); Bujo (*Similium*) (Ch) (O); Serpento (I) (Is) (N) (F) (A); Testudo (N) (T); Krabo (I) (T); Heliko (Is) (T); Hilo (I) (F) (Ng) (A) (C) (O); Mimizu (*Perichaeta*) (I) (Is) (N) (F) (A).

Kreskaĵoj—Piro (F) (Ng) (T) (*); Diospiro (T) (U); Pruno (*); Kaŝtano (U); Ŝio (*); Acero (T); Persiko (T); Saliko (T); Saso (T) (Ng); Peonio (F); Rizherbo (F); Moruso (Is); Kverko (Ok) (F); Umeo (I) (C) (T); Rododendro (I); Stelario (Ok) (F); Bambuo (I) (F) (T); Batato (Is); Paŭlovnio (Is); Farbito (Is); Hordeo (F) (T); Kukumo (F) (Ng) (T); Kukurbo (F) (Ng) (T).

La grandliteroj en la rondaj krampoj montras la literaturojn referencitajn:

(A) Veterproverbo de Aino (Met. Raporto. de C. M. O. Vol. 7. 1888).

(I) Klimat-raporto de Iŝinomaki (Met. Obs. pub. 1926).

(Is) Klimat-raporto de Iŝigakiĵima (Met. Obs. 1927).

(N) Klimata raporto de Nase (Met. Obs. 1934).

(Ng) Klimata raporto de Nagano (Met. Obs. 1929).

(F) Klimata raporto de Fuŝiki (Met. Obs. 1922).

(T) Klimata raporto de Takajama (Met. Obs. 1924).

(Ch) Klimata raporto de Coŝi (Met. Obs. 1934).

(O) Met. raporto de Okajama (Met. Obs. 1925).

(U) Met. raporto de Ŭakajama (Met. Obs. 1918).

(Ok) Meteorologio verkita de Dro. T. Okada.

(*) La veterproverboj, kolektitaj de N. Mori. 1917.

(**) Jiji-ŝimpo, ĵurnalo, la 22-an de majo, 1934.

Kompreneble tiuj ĉi materialoj ne estas la tuto de la malnovaj metodoj, nur estas kelkaj ekzemploj. Sed tio montras iom al ni kiel niaj prapatroj, observante la estaĵaron, penadis por antaŭdiveni la veterŝanĝon !!

En tiuj ĉi metodoj, la plej grava elemento por antaŭobservi prave la venontan veteron estis la klareco de *la okuloj de la koro*.

Kvankam moderna veterantaŭdivena metodo estas ĉefe bazita sur la scienca studado, ĝi ne povas malatenti la gravecon de la okulo de la koro. Ni rememoru ke D-ro S. Fuĵiŭara multokaze skribis pri tio en verkoj kaj ĵurnaloj.

Iuj el la malnovaj metodoj povas esti utiligataj ankaŭ en moderna veterantaŭdiveno.

En la lernolibro "Kiŝoogaku=Meteorologio" verkita de D-ro T. Okada, la direktoro de la Centra Meteorologia Observatorio, la aŭtoro, prezentante kelkajn malnovajn veterproverbojn, diskutis la aplikvaloron sub la scienca vidpunkto kaj konkludis ke kelkaj ekzemploj, t. e. la alta ĉielo, la haloj, trembleto de stellumo, ondŝvelo, orienta vento ktp. montritaj en supra tabelo havas certe la eblecon antaŭsciigi la veterŝanĝon.

Kaj alie laŭ la rezultato de S-ro N. Mori, meteorologo, la hilo de la studo antaŭdiras venontan pluvon antaŭ tridek horoj per la kvakkvako.

Li konkludis ke la hiloj sukcesis antaŭdiveni la pluvon 62-procente (meznombre).

Sed ekzameninte alian proverbon: "La milvo antaŭdiras la veteron", li certigis konklude ke milvo krias nur kaprice. (Referencu: Oosaka Asashi Ŝinbun, 23, V. 1934 kaj Meteorologia Raporto de Ŭakajama Met. Obs. 1918 kaj 1919. Do el la malnovaj metodoj, iuj havas ĝustecon sed aliaj, malĝustecon, tial por prijuĝi la verecon de ĉiuj malnovaj metodoj, ni devas ekzameni ilin.

La veterproverbo de la provincoj ne estas tute sama koncerne al la sama objekto. Ekzemple en Izumo-provinco oni diras "Strigo antaŭdiras la belan veteron". Pri tio, S-ro Jakumo Koizumi (Rafcadio Hearn) skribis en sia "Glimpses of Unfamiliar Japan": "It (strigo) also cries, "Noritsuke hose! ho! ho!" which means; Do thou make the starch to use in washing to-morrow! and when the women hear that cry, they knew that to-morrow will be a fine day."

Sed en la provinco Aŭa, oni diras "Strigo alvokas pluvon." Laŭ la onidiro, strigo krias "Furicuku ho! ho!" aŭ "Furicugu ho! ho!" kiu signifas: pluvos.

Pri tio ni havas malnovan version: Maljuna strigo senĉese alvokas pluvon, malnova arbo, malhela lunlumo.... (老梟頻呼雨 古木月光暗)

— 4 —

En malnova tempo, multaj popoloj same havis la veterproverbojn. D-ro Humphreys W. J. publikigis pri tio la verkon "Weather Proverbs and Paradoxes" (Baltimore 1923).

En kompare nova tempo, iuj kredas ke iuj insektoj kaj plantoj certe povas antaŭsciigi la veterŝanĝon.

S-ro J. H. Fabre montris kelkajn ekzemplojn pri la insekto-veterantaŭsciigo en sia mondfama verko "Souvenirs Entomologiques, Études sur l'Instinct et les Mœurs des Insectes".

S-ro Joseph F. Nowack kaj S-ro D— raportis pri la planto, kiu havas la kapablon antaŭsciigi la veteron. (Kiŝo-Ŝuŝi. Vol. 17 kaj 26, 1898 kaj 1907). [fino]

内外^{エス}運動展望

チェツク公使出席のチェツクの夕

4月27日和蘭エス聯盟とハーグのチェツクスロバキヤの Informoficejo 共同主催にてアムステルダム Kransnapolsky といふホテルの大サロンでチェツクスロバキヤ公使 Ivan Krno 博士の庇護の下に「チェツクスロバキヤの夕」をもつた。

Baas 氏の開會の挨拶(一般客に和蘭語で公使に對しエス語で)あり。公使がエス語の valoro をのべ最後にエス語でエス運動の成功を祈る旨のべられた。van Wijk 教授及 Polak 氏のチェツク國の歴史及經濟的發展についての話。チェツクの音楽等ありチェツクの filmo 映寫 Glück 氏エス語で説明。かくて大成功を以て終了した。

世界新教育會議にエス文書き

「日本女子教育」を携行

今夏イギリスの Cheltenham で開かれる第7回世界新教育會議 (La 7-a Tutmonda Konferenco de Nova Eduko)。に日本から出席する十數名の代表の一人たる神奈川縣高津高等女學校長新川正一 (Nikkaŭa) 氏は我々の熱心な同志であるがこの機會にエス文で書いた「日本女子教育」(Virina Edukado en Japanujo) といふ菊判 48 頁(豫定)の冊子を印刷同會議へ携行出席者に配布される筈。猶同會議の副會頭は有名なエスペランチスト Bovet 氏である。

野上彌生子女史エス語學習

文學評論 3 月號(新女性作家作品號) 23 頁に次の記事がある。

野上彌生子氏の「海神丸」は最近エスペラントに翻譯されてパリーから出版された。それについて作者は『わたしはエスペラントがよくわからないので、長男からおそはりおそはりエス語版「海神丸」をよみ、たいへんいい翻譯をしてくださいましたと感謝してゐるんです』といひ、『——今はもう子供を先生にして勉強してゐるんですよ』に、……

これは大崎氏譯の「海神丸」のことでパリから出たは記者の誤聞である。御長男素一氏

は高校時代からの熱心な同志であることは誰もしつてゐる。

エス譯「海神丸」は Lanty 氏その他から好評及激勵の手紙が譯者の手許へきてゐるとの事。

名古屋汎太平洋博覽會につき報導

來年3月より5月迄名古屋市に於て開催せられる汎太平洋平和博覽會の組織豫定出品種目名古屋の貿易狀況等々について UEA Heroldo de Esp. 太平洋岸の landaj asocioj へ名古屋エス會矢崎氏より報導した。Heroldo の4月19日號には掲載された。又その事につき大阪朝日の5月13日名古屋市内版に掲載された。

東洋文史研究所から機關誌が出る

露木氏を中心とする東洋文史研究所から7月15日いよいよ全エス四六倍判の Orienta Kulturo が出る。(一部 30 錢・税 2 錢)

創刊號主要目次内容：支那上代の文化(露木)、アイヌ文點點描(五十嵐)、能面(田村)、馬來說話(宮武)等。

同誌は季刊で本郷區駒込動坂町 228 露木氏方 最近移轉)から發行。(振替東京 103523 番)

オリンピック行の青木博士

ベルリン制覇を意氣こんで晴れの壯途にのぼつた陸上役員の中の青井博士、トランクの中に何かソツと忍ばせて獨りニタニタしてゐる。

なんだらうと調べてみるとこれはまた何のことだ、忍ばせたはエス語の字書と書籍、いはれを聞けばかうだ、ドイツ語はお醫者だから不自由もないが、二三年前名古屋を訪れたフィンランドの選手と語つたとき、どうも言葉で困つたといふのでそれからエス語を習ひ出した。

こんどの一行は廿四日にフィンランドの首都着同地で一ヶ月合宿して猛練習することになつてゐるので、さてこそ、そこで、みつちリエス語を練習しようといふ深慮からで、エス語會員これを聞いて、わがことのやうに嬉しがり、「さすがはわが役員だ、制覇は間違ひない」と太鼓判を押してゐる。(大阪朝日 6 月 10 日名古屋市内版より轉載)。

日本エスペラント運動三十周年 祝賀記念雄辯會及晚餐會

6月13日日本エス學會、東京エスクラブ、東京鐵道エス會合同にて三十周年祝賀の催しをした。

日本橋區本町一丁目二番地東京實業組合聯合會ビルディングで。當日は天氣晴朗でまことに申分のないよい日であつた。

雄辯會 は午後2時半から同ビル第五階講堂にて次のプログラムにより開催。

開會の辭	青木武造氏
サルート	松崎ルミ嬢
東京における朝鮮人の生活	金永淳氏

神の星

——上田正雄氏

エネルギーについて——武藏倉治氏

日本に於るエス運動——高橋菊藏氏

協力——朱文央嬢

エス語で著作せよ——石黒捷三郎氏

アンデルセンについて

鐵道現業委員會について

雄辯會について

〔講評〕

閉會の辭

司會は矢島英男氏。皆活氣ある論陣をはり勇敢に辯じた。松崎ルミ嬢は12歳(小學6年生)で松崎克巳氏の遺兒。金氏は半島生れの若い同志。その熱辯は滿堂を傾聴せしめた。武藏氏は鐵道技師、若い連中にまじつて勇敢にやられた。その他民國留學生朱文央嬢のgestoは滿堂を魅了。最後に小坂氏の講評と雄辯術についての心得等の話があつて雄辯會は4時半に終つた。聴衆約100名。雄辯會の直後晚餐會迄時間があまつてゐるのでその時間を利用して丁度雄辯會へだけ出席された田鎖綱紀、後藤敬三、鳴海要吉の三先輩の追憶談をきいた。



田鎖氏は人もしる日本速記術の元祖であるが明治39年頃にエス語を學びついで中絶し大正5年再び學習されたもの。本年83歳、脚をいためられ歩行幾分困難であるが演壇にたつては矍鑠たる態度で滔々熱辯をふるはれさまざまの思ひ出をシャレを連發しながら面白おかしく話し聴衆の腹をよじらせた。

後藤氏は東京物理學校理事。大正初期のエス運動のため活躍された人。物理學校長中村精男博士にすすめられ電車で通勤の際だけ勉強することにしてエス語をやつたといふ昔話を

をかたられた。

鳴海氏は歌人。綠風歌といふ特殊形式の短歌を創始。明治39年からエス語をやられた人。エス語受難の話やその他いろいろ話された。

かくて午後5時40分

頃無事終了。

祝賀晚餐會 は午後6時から同ビル地下室の江戸橋亭で催された。總勢116名といふ近來のレコードをぬく盛大な晚餐會であつた。食堂も豫定を超過して大まどつきであつた。黑板博士を始めその他の古い同志で所用のため、出席不能の方々が相當多かつたのは残念であつた。食事の後學會理事長大石和三郎氏司會の下にまづ同氏より30周年を迎へた祝賀のよろこびをのべついで久保貞次郎氏が若いエスペランチストを代表して古い同志に感謝し併せて若い同志の心がまへをのべ次の順序で古い人々の追憶談があつた。

ガントレット氏——明治33年講義録を出した。ガ氏の思ひ出話。(エス語)。

中目覺氏——明治38年ベルギーでエス語を學ばれた人。ハルビン行の昔話を興味ふかく語られた。(始めに少しくエス語で話された)。

第十回 北陸エス ペラント 大會

5月3日

於富山商工會議所



〔寫眞説明〕 右より〔前列〕菅野祐治、岩田宗一郎、野村理兵衛、由比忠之進、角尾君子、田中富士子、松澤喜作、〔中列〕角尾政雄、松田周次、志甫三郎平、大塚正之、荒木幸雄、柳田孫治、余川久雄、〔後列〕伊藤春夫、藤澤兵治、平岡伴一、松本常重、深井正淑、山村義信、中上清、木津正志、岩橋正一の諸氏諸嬢。

北陸エスペラント聯盟はその第十回大會を去る5月3日富山商工會議所を開き、折柄開催中の日滿博と呼應して氣焔をあげた。參會者23名、臨席警察官2名といふ物々しいものであつた。次の如き programo にて盛會裡に終了した。

午前 10 時開會

1. 君ヶ代及エスペーロ齊唱
2. 開會の辭——大塚正之氏
3. 大會々長に由比忠之進氏を推す
4. 同會長挨拶
5. 地方會代表挨拶

木津正志氏(金澤エス會)、角尾政雄氏(高岡エス會)、松澤喜作氏(五百石エス會)、中上清氏(金澤醫大エス會)、野村理兵衛氏(城端エス會)、岩田宗一郎氏(出町エス會)、余川久雄

氏(富山エス會)、松田周次氏(日本國民速記協會北陸支部)。

6. 祝詞、祝電披露
九州エス聯盟、七尾エス會、大屋エス文庫、名古屋ヨゼフ・マヨル氏、東京石黒彰彦氏。
 7. 協議會——機關誌繼續發行に關し、渡部隆志氏及 岩田宗一郎氏より提案あり、満場一致繼續斷行、城端野村理兵衛氏を direktoro に推薦する旨を可決。
 8. 第 11 回大會を金澤市に於て開催と決定。
 9. 閉會の辭、平岡伴一氏
 10. Tagiĝo 合唱、記念撮影
- 午後 12 時終了(富山エス會報)

藤林房藏氏——明治 40 年エス語學校第 3 回卒業生の一人。今日迄協會學會を通じて會員として残つてをられる方。昔話を少し初められたが軽い眩暈のため中途ではしをられた。

下瀬謙太郎氏——元陸軍々醫學校長。明治 35 年にエス語を學習された先覺者。日露戰爭中從軍の醫科大學教授等の佩用した徽章(下瀬氏考案)が偶然にも綠星章と一致した。奇縁その他につきかたられた。

安孫子貞次郎氏——明治 36 年頃からエス語を學び明治 44 年歐洲へゆき英國でワシントン大會へ行くザ博士にあつたことパリの會等に出たこと等々興味ふかい昔話があつた。

大井學氏——明治 39 年以來つづいてやつてをられる同志。昔の文通の友の話やその他おもひ出話をされた。

佐々城佑氏——明治 39 年以來の古い同志。横濱時代の昔話をされた。

小坂狷二氏——上記の古い人々についての思ひ出話。特に逸話を話され非常に面白かつた。(エス語)

次に maloftaj gastoj として Alexander 嬢今夏英國 Cheltenham の世界新教育會議出席の新川正一氏、仙臺の菊澤季生氏、横須賀の松葉菊延氏の salutoj があつて後 10 時 20 分盛會裡に散會。

猶同食堂の atendejo には古い昔の寫眞が數十葉陳列されて昔をなつかしむよすがとなつた。

前頁寫眞説明。上は雄辯會(壇上松崎ルミ嬢)。中央は晚餐會場で。立てるは小坂氏それから左へ佐々城、藤林、下瀬の諸氏(その左に中目、安孫子、ガントレット、アレキサンダー嬢がゐた。)食卓こちら側左から 2 人目菊澤、大石、大井の諸氏。この寫眞は同志木全白羊氏が撮影下さつたのです。

全 國 各 地 報 道

投稿注意:

1. 日本文にて・なるべくハガキで・迅速に・簡単に。
2. 締切大體前月 18 日 (18 以後到着のものものをせりとあり)。
3. 地方會誌を以て報道に代ふるをえず。
4. 寫眞は裏に必ず何の寫眞かといふ説明記入の事。
寫眞は返送せず資料として保存す。

東京 ★早大エス會——毎週火土 13 時より 2 時間研究會をもつ。テキスト Andersen の Fabeloj II. 出席 4-5 名。目下會報 8 號發行準備中。

★東京商大専門部エス會——昨年来種々運動してきた我エス會も文藝部内エスペラント研究會といふ名前で最近誕生した。現在會員約 20 名。毎日晝休講習。本年 4 月卒業され大阪へ赴任された先輩吉田雄兄は 4 月黄泉の客となられた。全國の同志と共に心から哀悼の意を表明する。(村 振一氏報)。

★婦人エスペラント聯盟 (Ligo de Esperantistinoj Japanaj) 成立:——既報の通り日本に於ける婦人同志の大同團結を期した婦人聯盟が 6 月 4 日愈々成立しました。全國の婦人同志の御支持を期待します。聯盟に關する問合せは下記へ。

東京市王子區下十條町 1159 萬澤まき子
◇婦人エス聯盟主催女子講習會:——婦人聯盟では最初の仕事として婦人のための初等講習會を 6 月 11 日より學會講義室にて開催した受講者十數名。栗山嬢指導の下に熱心に講習を受けてゐる。

★磯部幸子嬢渡米送別及び婦人エス聯盟成立祝賀の會:——6 月 4 日夜、本郷森永に於て。參會者は京濱の熱心なサミデアニーノ十數名。磯部嬢を中心に婦人による國際親善の現状や將來や、婦人エスペランティストとしての抱負等を愉快に語り合つた。8 時に磯部嬢は御多忙の爲退席された。その後で婦人エス聯盟準備委員會より經過報告をし、一同協議の上規約案に少し訂正を加へ、常任委員を選んだ。委員長は萬澤嬢に決定。盛會裡に 6 時散會した。

★磯部嬢渡米——6 月 11 日東京驛發渡米の途にのぼられた(秩父丸)。當日學會から小坂、岡本、三宅、その他の同志、婦人聯盟の諸嬢見送る、横濱では同地の同志多數見送り小型撮影機で filmigi した由。

★マラン氏離京——昨秋來東京に滞在し東京の同志と交遊し日本研究に精進してゐたベルギー人マラン (Marin) 氏は澤山の忘れがたい思ひ出をのこして去る 5 月 15 日東京をたつた。岐阜から新宮の方へ出て九州へゆかれた。

★學會水曜日例會——ながらく Fabeloj III. 講義中の所 8 月から La Rabistoj を講義のこととなりました多數の參加を希望します。

★淺草エス會 (Asakusa Esperanto-Societo)——既報の如く 6 月 5 日 19 時學會階上にて發會式舉行。岡本、三宅、多羅尾、佐久間 (横濱) その他の諸來賓も臨席され 25 名の多數にて盛會。事務所は牛込區喜久井町 34 渡部秀男方。會長渡部秀男氏。委員、松本(教育)、並木、高部、大橋(圖書)、石黒喜(企畫)、石黒捷(例會、記録)、仲野(會計)、エス語についてのあらゆる調査研究資料作成に盡力することになった。全國同志の御盡力御援助をお願いします。

淺草クンシードは同會の例會をかねることになりましたが從來通り一般に開放してをりますからおいで下さい。

★Elektro-Esp.-Grupo——6 月 12 日銀座明葉にて。光のコロナ現象(岡本)、手のアンテナにつき(高木)の話あり。◇事務所を今回東京市本郷區神明町 453 高木貞一方に變更しました。

横濱 ★横濱エス協會 ◆Verda Jupitero (木曜例會)——◇5 月 21 日自由會話 13 名。◇23 日第 6 回總會。20 名。各部報告後新委員を選任す。有志提案による決定事項は 1. 會報を季刊とすること、2. 積極的普及宣傳、3. K. K. K. L. の復活を講ずる。尙昨年度概況は各部とも良好。◇6 月 4 日自

Somera Esp. Hejmo

エスクラピーダ・クルーボ主催
一般の參加を歓迎す。

時: 7 月 21-25 日の 5 日間

所: 伊豆國戸田・東京帝大寮

(沼津下車發動機船で戸田港までゆく)

費用: 1 日約 1 圓 (食費付)

1 日でも結構ですから御參加下さい。前もつて申込れなく(突然御來訪され)ても結構です

東京帝大醫學部エスペラント會

由會話。12 名。◇11 日。12 名。delegito 飯田氏より UEA 移轉問題につき報告あり。全員ロンドン行賛成。

◆YMCA-Esp-Grupo——週例会毎火金 19 時より、會話に力をそそいでゐる。出席 8 名。横濱英語學校では 5 月中旬より初講が開始された。講師松山氏。用書短期講習書。毎火金 18 時半より。

◆Rondo Amikino——週例会毎木 17 時より Verda Jupitero 會場にて 6 月 7 日湘南大楠山に遠足を催す。

◆河合氏來訪——名古屋河合直次郎氏 5 月初旬上京の歸途來濱された。JEA の Ges-anoj と交歓され。尙 5 月下旬に淺草クンシードの同志兩度來濱市内見物。

◆縣下の學會員諸君につぐ——5 月上旬一二の新聞神奈川版に「横濱市内の某エス會がスパイ嫌疑で取調べられてゐる云々」といふ書出してデマをかいた記事が出た。我々こはなデマにおどろいてはゐない。各會とも盛會である。御安心あれ。

浦和 ★浦高エスペラント會——◇5 月 16-17 日第四回展覽會を開催した。學會その他から材料をあつめた結果數百名の入場者があり書物も賣れた。◇初等講習を 6 月初旬に終了、引續き會話の練習開始。◇中等科を同時に開講した。◇夏期休暇には合宿を行ふ豫定。場所は長野縣上伊那郡の會員宅。約一週間。



浦高展覽會。左より〔前列〕松本、細田、エス語坊や、島地會長、菊地、高山。〔後列〕土屋、笹山、守隨、高橋、野上、島地夫人、河合、宇治、市川、深谷、早川の諸氏。

仙臺 ★仙臺エス會——猪川、菊澤、前田、菅原氏指導の初等講習は 6 月 8 日終了。直ちに 20 時から YMCA 日本間で懇親會をひらく。講習生を代表して柳橋元利氏エス語で挨拶。各自自己紹介あり。出席 30 名。(内 21 名は講習生)。尙この講習會は萩谷、道家、石川の諸氏に負ふところ大。

鈴木北夫氏の訃 仙臺エス界に於てその人ありと知られた鈴木北夫氏は東北大學病院小兒科傳染病室勤務中の所去る 6 月 17 日殉職された。19 日の葬儀には仙臺エス會を代表して菊澤季生氏仙鐵エス會を代表して石田八朗氏エス文弔辭をよむ。尙學會その他より弔電があつた。我々は全國同志と共に同氏の死が我國エス運動に大きな損失を與へたことをかなしむ。ここに謹んで御遺族に哀悼の微意を表明致します。

小樽 ★初等講習會は小樽エス協會、小樽佛教エス會共催で 6 月 1 日より 1 週間量德寺書院にて行はれた。参加者 17 名。用書は短期講習書。講師は福田仁一氏。◇6 月 8 日札幌相澤治雄氏來訪、高橋、坂下、福田、參集し大會に就いて協議した。◇6 月 14 日高橋要一氏札幌エス會を訪問した。



6 月 1 日初等講習紀念。量德寺書院に於て

★小樽高等商業學校は在來エス語の學習に對し mabfavorsa であつたが、今回の初等講習會の afiŝo に生徒監の許可印を捺し學内に掲示してくれた。その結果名の参加者を得た。
★小樽エス協會——例会は第一、第三水曜、南小樽驛前福田宅にて、用書：フランス篇。出席者 6, 7 名。

★小樽佛教エス會——例会毎月回集合。用書；Ezopo. 講師：藤川哲藏氏。出席者 10 名内外。

★エス會話會——第二、第四水曜オリンピック喫茶店にて、毎回出席者 8, 9 名。

帯廣

★學會帶廣支部——4月14日ザメン
ホフを憶ふの座談會を千秋庵三階で
催し、新舊同志 20 餘名の参加を得。エス語
大衆化を論じ盛會だつた。◇5月6日副會長
菅沼氏は扁桃腺手術のため宮坂病院入院。見
舞人は殆んど同志だが話はエス語。それに刺
戟されてか病院の薬剤師看護婦合計4名は直
ちにエス語研究を始め講習會へ参加完全に病
院を緑化した。◇5月26日初等講習終了。
引續き中等講習をつづける。

苫小牧

★苫小牧エス會——◇4月14日19
時より岡恒宅に於て本年度第一回
初講。用書井上エス讀本。受講者全部工業生、
出席 10 名、以後毎週土曜を初講に充て毎回
10名内外の出席あり。◇18日。岡恒、札幌エ
ス會訪問 17 時より藤本氏宅にて大會準備具
體案に就き協議す。◇5月21日。工業生同志
修學旅行の途に就く。◇30日。岡恒、鶴川に
今氏を訪問、御多忙中を日本大會其他に就き
懇談、猶氏は近く同好の士をつのり講習會開
催の由である。◇6月4日。岡恒、工業教諭
野町氏を私宅に訪問、生徒のエス語學習其他
に就き懇談猶氏は既に學習を始められ来る24
回日本大會参加を約された。◇7日20時より
岡恒宅に於て初講終了後修學旅行隊同志訪問
の話を聞く。◇10日19時より第一回水曜例
會、各會員の都合悪く出席4名。以上

札幌

★札幌エス會——◇6月7日。相澤は自
轉車にて小樽を訪問翌8日高橋氏を
訪問、福田、坂下氏に會ひ、大會について會
談す。◇6月13日。仁岸、阿部、村山、太
丸氏等7名大會、特に展覽會について打合せ
のため帶廣市を訪問した。◇6月14日。小樽
より高橋氏自轉車に來る翌15日浪越氏宅にて
木村氏、阿部、太丸、村山諸嬢と集合して大
いに話に花を咲かせた。集合は毎週水曜行は
れて居るが大會の相談で持切りである。市の
名士訪問とか同志訪問のため多忙を極めてあ
る。

富山

★富山エス會——◇今回役員を下記
の如く改選：會長平岡伴一(富高教
授)、幹事五艘辰男(小學教員)、岩杉正一(農
業)、馬場八十松(郵便局員)、顧問：渡部隆
志(富工教諭)、余川久雄(銀行員)、大塚正之
(銀行員)。◇今秋「萬國ポスター展」を開く
計畫のもとに6月8日各國百餘の同志に宛て
て依頼狀を發送。なるべくエスペラントに因
んだものを多く集めたい意向。◇monata
kunsido は今後各月 15 日 19 時二番町映畫
劇場向ひ、ハコベ喫茶店1階で開催のことに

變更。◇先般當市在住の名士に對しエス語に
關する質問狀を發送せるに9名の返信あり。
5月27日付富山タイムス紙上にこれをまとめ
て發表した。

金澤

★金澤エスペラント會——さきに坪
田一男氏を失つて一打撃を受けた
金澤エスペラント會は今また大正 13 年來の
batalanto にて榊野氏さえ存在すれば金澤エ
ス會の衰滅するなしとまで云はれた中堅人物
榊野助治郎氏及同じく大正 13 年來の同志に
て、理論及技術方面の一人者たりし清水順吉
氏を相次いで失ひ大打撃を被むる事となつた
が之に屈する事なく由比忠之進氏采配の下に
新陣容をととのえて新人を獲得して一大飛躍
をはかる事となつた。

先づ往年の闘士にて元氣満々たる吉川友吉
氏を宣傳部長にすえて對社會的事業に専任し
て頂き、機關誌ノルダステーロの發行には新
鋭伊藤春夫氏之に當り、宣傳、企畫、機關誌
のかかりとして八面六臂の働きをした坪田氏
の後任を定め、最困難の會計、圖書の事業は
荒木幸雄氏之に當り矢徳、平石、永島、木津
の諸氏が遊軍として之等を助ける事となつ
た。

又一方金澤商業の方は菅野氏の大努力によ
り受講生約 50 餘名を得て今日ほとんど公認
のありさま金澤一中同様校友會の一部となり
得る日も遠くはない事と思はれる。又金澤醫
大の方は一頃から見て幾分落氣味であるが中
上氏の努力により再び隆盛の日を見るのも近
い事と思ふ。委員の顔觸次の如し。

會 長	瀬川 重禮	森町 1 番丁 6
總務、會合	由比忠之進	同 2 番丁15
宣 傳	吉川 友吉	片町 91
金澤エス會	學會金澤支部事務所	
	松田 周次	新堅町 1-54
會計、圖書	荒木 幸雄	御徒町 5-3
機 關 紙	伊 藤 春 夫	彌生町 4-12
醫大エス會	中 上 清	山崎町18金子方
金商エス會	菅 野 祐 治	上鶴間町4-190

例會 ◇3月26日。9人。坪田君の追憶談に
ふける。◇4月2日。3名。9日3名。16日
本日榊野、松田、由比、中上、清水の六人出
席海神丸の輪讀清水氏本日急に上阪する事と
なり金澤の地を去られる事になつたので最後
のお別れに出席、一同事の急なるに驚く。◇
19日。榊野氏静岡へ轉住との寢耳に水の如き
報知あり香林坊魚半にてささやかながら送別
會を開く。事餘りにも急なるため一同に報知
するいとまなく會するもの由比、吉川、榊野、

荒木、菅野、松田の六人のみ13ヶ年の金澤エス運動を顧みて感無量であつた。◇20日。深夜榊野氏出發見送るものエス關係者、瀬川、吉川、松田、中川の4人。◇23日。5名。◇30日。8名。伊藤秀三氏初めて出席。初等講習實施のため種々準備を行ふ。吉川氏出席大々的氣焔をあぐ。◇5月6日より西町商工會議所にて第40回初等講習會を開く。毎週月水金の3回にて15回受講者は14名で割合少かつたが皆熱心にて出席率は全期を通じて90%の好成績であつた。用書初等讀本、3名。交替指導に當る。由比、松田氏共出張、旅行等にて中上氏の努力が大きかつた。◇5月17日。坪田君の追悼會を行つた。丁度防空演習のため出席者は少かつたがしみじみと故人の事を語り合つた。出席者坪田氏父君、姉君、伊藤(春夫)、相坂、瀬川、由比、宗廣、松田、田中(fr.)近藤(fr.)の諸氏諸嬢。

岐阜 ★岐阜エス會——5月5日12時32分岐阜驛着大阪エス會福原扶美子嬢來訪、柳原、板橋兩氏出迎へ博覽會へ案内。同嬢のエス語が行人の人目をひき宣傳價值は100%。◇5月23日 Marin 氏東京より訪問。岐阜新聞訪問。鶉飼を見た。

四日市 ★四日市エス會——最近各自多忙の爲集會不能。◇6月7日吉岡氏桑名エス會を訪問。廻覽雜誌印刷につき協議。

大阪 ★新星會——毎土曜19時より“Homoj sur la Tero”の輪讀月例會は都合に依り當分の間中止初等講習會——6月19日より毎週1回金曜日19時より用書井上氏エス讀本指導者兒氏受講者8名。

★大阪外語エス會——新しく前田君を迎へた本會は4月27日より5月29日迄毎週月水金曜日の晝休みに初等講習を行つた。15名參加。淺井教授を臺北帝大へ送り先輩宮本氏も亦本會を去られたが傳統の強味で新舊同志一同今後の活躍を誓つてゐる。

高知 ★高知エスクラブ——◇6月14日14時高知市中島町カフェブラジル特別室にて初夏懇談會を開く、藤田會長語義研究 skoto, protokanajlo, fitoterapio, kosmo-hemio. 坂本氏 Esp. と國家主義。森氏 Esp-ismo. 橋田氏エス通信、松本氏エス詩の作り方、fino 中村 Esp. と私、辻氏趣味と Esp. 出席7名。後 bulteno 編輯協議18時散會。◇民謡作品社主幹横山正春氏の御援助により縣下詩人に運動する。

◇大毎高知版の會合豫告に感謝。

福岡 ★學會福岡支部——月例會6月15日1時より、橋口町風州屋にて開催。6名。KEL 大會其他につき幹事より報告の後 libera parolado を行ふ。

★九大エス會——5月下旬より農學部大島、江崎兩教授指導の下に毎週1回講習會開催中。聴講者15名。◇5月12日18時より工學部學生集會所にて日本エス運動3周年祝賀の意味を兼ねて懇親會を催す。出席者大島教授はじめ先輩學生19名、尙學會支部より堀内幹事の參加あり。定刻川關氏開會の挨拶を述べ晚餐を共にし、續いて自己紹介、先輩の希望感想談あり、最後に大島教授のエス語の輪廓についての講話あり盛會裡に21時過ぎ散會す。尙本會にては最近思想善導の意味を以つて大學當局より訓育費として補助金を下附された。

行橋 行橋エスペラント會——種々の事情のため長らく休會中だつたが本月16日久しぶりで南氏方に會合。九州エス聯盟本部よりの諮問事項四項目に就き協議回答。次回よりの例會は月2回第一、第三土曜日19時30分より22時まで、會場は當分各會員廻り持。

宇土 ★宇土エス會組織變更——從來書記(市原)一任の會務を分つて次の如くした。會計源ふみえ嬢、圖書、西規佐子嬢、宣傳江田威臣氏、書記(教育、通信)、市原耿路氏。市原氏は九州聯盟の代表幹事を辭退し、後任には菊川寶城氏參加、尙全會員を二地區に分ち、第一地區は別に委員を設けず第二地區代表には上田正男氏が選舉され事務の圓滑を計る事となつた。

宮崎 ★宮崎エスペラント會——◇4月19日珍らしく暖かい日曜を市外一ツ葉濱へピクニック。參加者杉田氏の1/2歳の赤ちゃん迄入れて總勢23名。ゆらぐかげらふの白砂に壕を掘り、松毬を拾つて飯盒を掛ける。出來上つた粥の様な御飯も賞味されるにぎやかさだ。春の一日を味ひ盡して15時過ぎ引上げた(次頁寫眞參照)。◇4月開講の初講は6月一杯を以つて終了の見込なので引續きEzopoを講ずる筈。從來の例に反し受講生の出席率良好なのを喜んで居る。◇宮崎エス會では「新しい村」を訪問するベルギーの同志(過般東京に滞在中だつた) Marin 氏が6月10日午後突然來訪したので其夜歡迎茶話會を開いた足跡世界にあまねき此外人エスベ



ランチストの流暢な話巧なゲストに皆聞きほれた。宮崎エス會が迎ふる最初の外人エスペランチストとして此人を得たことを紹介者學會久保氏及比嘉氏に感謝する(寫眞参照)。氏は渡部、杉田の案内で宮崎近郊の名勝舊蹟を賞し 12 日鹿兒島へ向つた。



右より〔前列〕崎村、菊池、Marin、杉田(笑)、杉田(正)、瑛九、〔中列〕渡部、古田、川野、本部、〔後列〕中川、山下、兒玉、大坪の諸氏諸嬢

★初等講習は月、金曜エゾボを研究し乍ら渡部の指導で會話練習中、例會は火曜日會合 Zam. 讀本輪讀中。

★會長日野博士は滿二ヶ年の滯歐を無事終了過日歸宮された。近く土産話が聞かれる筈。

臺北 ★臺北エス會——久しく沈滞の状態に置かれた本會では淺井惠倫氏の臺北帝大赴任を機として再起すべく 5 月 29 日 19 時より新公園協和會館に會合を催し淺井氏歡迎會及夏期講習に就て打合せをなす。◇5 月 28 日淺井惠倫氏着臺臺北帝大文政學部言語學を擔當さる。◇6 月 1 日マニラへのエスペラント旅行の途上三重縣の林好美氏來臺、同志

數人にて市内を案内し、2 日 19 時より甲斐氏宅にて歡迎茶話會を開き歐洲エスペラント旅行談はづむ。(安田氏報)

新聞雜誌とエス語

★九州新聞(2 月 26-27 日)——阿部眞之助氏の女學校と世界語を駁す——岡本好次氏。

★九州新聞(3 月 22 日)——神尾産婆養成所エス語採用の記事。

★九州新聞(4 月 13-17 日)——ザメンホフ回想——中川年男氏。

★九州新聞(5 月 1 日)——文學懇談會の記事。

★なんぶら(6 月號)——エスペラント講座——加藤孝一氏。

★東京日日新聞(6 月 16, 17, 18 日)——エス語三十年(野原休一氏)。

★萬朝報(6 月 17, 18, 19, 20, 21 日)——私の生活に勇氣を與へたエスペラント(秋田雨雀氏)。

★東京日日新聞(6 月 10 日)——麗人使節あす渡米として磯部嬢を紹介(因に同嬢は東日の米國三大新聞宛のメツセージを携行した)。

★大阪毎日新聞(6 月 10 日)——同上記事。

★河北新報(6 月 11, 12, 14, 16 日)——仙臺エスペラント運動の思ひ出——菊澤季生氏。

★河北新報(6 月 7 日室の内と外)——仙臺エス會主催のエス語講習終了親睦座談會記事。

★くろだいや新聞(5 月 30 日)——福岡、熊本兩縣下エス會合同ピクニック紹介。

★北海タイムス(5 月 30 日釧勝根北版)——帶廣のエス語熱を寫眞入りで紹介。

★大阪朝日新聞(6 月 10 日名古屋市版)——オリビツク陸上役員青井博士がエス語の書籍をトランクに忍ばせて彼地で實地に練習すると「聽音機」欄に紹介。

★宮崎新聞(6 月 11 日)——新しき村を訪問せるマリン氏を紹介。

★都新聞(6 月 10 日)——エス語卅年祝賀會豫告記事。

★新愛知(6 月 17 日)——同上豫告記事。

★日刊工業新聞(6 月 17 日)——同上記事。

★讀賣新聞(6 月 17 日)——リヒテンシュタイン公國より日本の柔道修行に、クルト、カウフマン博士が近々來朝すると。

★民謡作品(第 5 卷第 5 號)——岡本好次、松本冷鹿兩氏のエス譯詩あり。

民謡作品(第 5 卷第 6 號)——松本冷鹿氏のエス譯詩。

★文學評論 (4 月)——日本プロ美術のスタイルについて(ボリスソコロフ)——エス文手紙の翻譯。

★文學評論 (5 月)——ソヴェート文學愛好者からの手紙——エス文手紙の翻譯。

★文學評論 (6 月)——連載の文學勉強の基礎はエスペラント通信によつて得られた旨附記されてゐる。

★新潮 (6 月)——徳永直氏の「ソヴェート・ロシアの文學教程は上記文學勉強の基礎」の紹介文であるが、譯者が若いエスペランティストである旨紹介してゐる。

★時局新聞 (156 號)——ほんとに楽しい僕らの職場(ソヴェート通信)。

★時局新聞 (160 號)——朗らかに快活に僕らは労働する(ソヴェート通信)。

★臨床藥報 (5, 6 月號)——Kian gravan rolon ludas la dento?——久保義郎氏 (R. O. 所載) を和譯したもの。譯者田畑喜作氏。

A N O N C E T O J

Akegarasu-Haja

La Japana Spirito

tradukis Oohaŝi-Kaiziro

佛教學者中異彩を放つてゐる曉烏敏氏著「日本精神」(元北國新聞に連載好評をえ後改訂し單行本としたもの)のエス譯出づ。譯者大橋氏は元東都エス語界で活躍された方。譯文流麗。大和魂紹介の好著なり。菊半截 100 頁餘。價 50 錢・送料 2 錢學會にて取次ぐ。

最近横濱市中區山下町 9 番佛郵エム・エム汽船會社へ勤務することになりました。

田 沼 利 男

地方會機關誌その他

Spaco 節約のため内容中分量多きもの特色あるもの二三を紹介。大さ明記なきは半紙半截型とす。

★Verda Ombro (長崎) (5 月號) 菊判 24 頁。

★La Vojo (熊本) (6 月號) 菊判 2 頁。Reĝo Rosko malsaga (Iĉihara)。

★La Lumo (名古屋) (第 2 號) 18 頁。Kien iras, Gejunuloj (山田)。

★La Elektrujo (電氣) (6 月號) 15 頁。Nuna Stato de la elektrentrepreno en Manĉurio。

★Sunfloro (神戸) (創刊號) 菊判 10。日本古代の舟(田口)。バルプロとエリコ。ドレーゼンの「科學技術用語の國際化の問題に就いて」を讀んで。

(神戸市灘區大石 22 の 29 若松方、大屋エス文庫發行。月刊)

★La Plinto (苦小牧) (3 號) 菊判 52 頁。Eksperimento pri tera ecaro (藤本)。

★La Fervojisto (東京) (5 月號) 菊判 14 頁。Floroj kiuj floras el larmoj (菅原)。

★K. E. L. (九州聯盟) 第 13 回九州エス大會報告書。

★La Paco (京都) (14 號) 菊判 18 頁。ことばのいのち(柴山)。Nigra sento (Kanamatz)。

★La Lumo Orienta (京都) (6 月號) 菊判 16 頁。Sentimento en malfrua printempo (吉田)。

★Verda haveno (横濱) (36 號) 菊判 8 頁。Saluto al Jokokamaj Gesamideanoj (吉田)。

★Forta Voko (北陸聯盟) (6 月號) 18 頁。英語教育叢書の發刊に就て(菅野)。

★Bukedo (京都婦人) (4 月號) 28 頁。Vizitinte la templon Hoorjuŝi (福原)。Verda edzino (木村)。

★Sunfloro (神戸) (2 號) 14 頁。日本古代の船 (田口)。

★La Libero (岸和田) (6 月號) 12 頁。Jesuo? Ŝinran? (中西)。

★Eĥo (岸和田) (4 月號)。2 頁。Pri la verda estonteco de K. E. S. (Degami)。

★Eĥo (岸和田) (6 月號)。2 頁。La stelo (川崎)。

★La Bulteno de T. E. S. (富山) (1 號)。2 頁。

個人消息

★淺井惠倫氏——今年早々和蘭留學より歸朝されましたが去る 5 月臺北帝國大學助教授に御榮轉御赴任された。

★穴戸圭一氏——京都で永らくエス運動の爲働らかれてゐた同氏は 6 月八幡市黒崎日本タール工業株式會社へ入社され八幡市へうつられ同社社宅にすまはれることとなつた。同氏が北九州での御活躍を祈る。

エスペラント・その概要および學び方

「エスペラント・その實用および學び方」としてこの前發行してゐた宣傳小冊子を今度改訂して上の如き表題で發行。これは今後宣傳用として御頒布に限り一部五厘(郵税は十冊以下は冊數に拘らず二錢お送り下さい。十冊以上は當方負擔)でお頒ち致します。(實費一部一錢以上ですが不足分は後援で負擔します。)大いに御活用下さい。

エスペラント運動後援會報告

6月20日(土)午後2時-7時。學會階上にて、第3回幹事會開催。出席幹事。美野田琢磨、小坂狷二、三石五六、大木克巳、原田三馬、酒井鼎、久保貞次郎、學會事務局から岡本好次、三宅史平出席。

小坂氏議長。

報告事項(幹事會承認)。

1) ビラ、パンフレット係の久保幹事、學會の從來の「エスペラント、實用及び學び方」の改訂を依頼され、學會編輯部の訂正したものを更に検討し、印刷所へ廻送、一萬部印刷の豫定。

2) 支出(カッコ内の數字は前號報告豫算項目の數字)

a) 10.00圓 エス運動三十周年祝賀雄辯會
會場費一部負擔(他は學會、東京エス俱樂部共同分擔)(8)

b) 5.00圓 エス運動三十周年祝賀會及び
新川正一氏渡歐、ニュース、
全國216社へ配布費。(1)

c) 22.00圓 東京日日 6月19日朝刊エス
ペラント廣告。(2)

(以上原田幹事報告)

三十周年祝賀雄辯會は、内地報導にて御覽の通り、盛會に終了、續く晚餐會は110名を突破した大盛況。このことは6月9日のラヂオ、ニュースに放送された。其他、都新愛知、日刊工業新聞等に報導さる。東京日日新聞(野原休一氏)、萬朝報(秋田雨雀氏)のエスペラント運動三十年の回顧の記事を載せられ、一般讀者の注意を喚起した。

(b) のニュース配給は6月14日發送、目下のところ市民日報北國夕刊等に報導された。

(c) の新聞廣告は僅か一日を経た今日最早170通を超える問合せのハガキが殺到してゐる、いづれ悉く記録して、地方別に報告出来ると思ふ。

豫定事項(實行決定)

1) 代議士問合せ解答は近く、未解答の代議士へ再質問をし、これをまとめて、パンフレットとして一般に配布することに決定。後援會庶務部及び學會事務局でこれを行ふことにした。

2) 新聞廣告は近日中、第二彈として大阪毎日新聞に掲げ關西方面に宣傳することに決議。其他機會をみて、大學新聞(東大、早稻田、慶應等)にも廣告する。雜誌方面は中央公論、改造、文藝春秋日本評論を選んで8月號へ廣告。

3) **特使派遣。**

日本エスペラント學會第二回特派使節として、學會書記長岡本好次氏に北海道の日本エスペラント大會出席に前後して、北海道、東北地方を廻つて頂くことに決定。詳細は近日中各地方會に照會の豫定。後援會にて旅費の一部負擔を可決。

尙先月決定した事項であるが、後援會諸雜務を遂行し、併せて學會事務局の仕事も分擔するため、女事務員を新しく一名傭入れることに第2回幹事會にて決定。5月8日詮衡、金子よね氏に決定し、10日採用。後援會より12圓、分擔支出することになった。

後援會拂込濟會費合計

1,186.08 圓 (6月20日現在)

——6月20日久保記——

[前月報告高橋記、前々號久保記]

編輯後記

★前月特輯號については各方面からおほめの言葉をいただき努力がむくひられた様です。

目下史料を蒐集中です單行本はもつとすばらしいものにします。

★★★別項記載の如く小生7月下旬から8月中旬迄北海道東北地方へ旅行不在ですから内地報道欄宛通信は7月10日迄にお送り下さい。又小生個人宛用件は7月20日迄に願ひします。(岡本)

★本誌次號豫告

實にならぬエスペラント漫談 高橋邦太郎
田舎でエス語學習の苦しみ 田中顯道
エス語彙に關する二三の統計 城戸崎益敏
日本におけるエス關係ラヂオ放送一覽表

★昨冬朝鮮から大連へ轉任された大谷正一氏は今後滿鐵本社旅客課宣傳係(同所でエス文案内記發行)に轉任された。これは大谷氏がエス語をやつてをられるので決定したとの事。同氏の今後の活躍を祈り、うれしい報知としてここに披露する。(岡本)



大會々場グランド・ホテル

夏の札幌へ

第廿四回日本エスペラント大會

(第五回北海道エスペラント大會)

★ 日 程 ★

第1日 8月8日(土)

10.00	受付開始
12.30—14.00	大會發會式
14.00—14.30	記念撮影
14.30—16.00	日本エス學會總會
16.00—18.30	大會協議會
19.00	懇親晚餐會

第2日 8月9日(日)

9.00—10.30	第5回北海道エス大會
10.30—12.30	分科會
12.30—13.30	晝食
13.30—14.30	分科會報告
14.30—16.30	大會大學
19.00	普及講演會

第3日 8月10日(月)

支笏湖へ 午前7時より午後4時まで

★ 協議事項 ★

大會協議會議題は必ず7月10日迄(當日の消印あるもの有効)に大會準備委員會宛御申込下さい。それ以後は受付ません。

★ 参加費概算 ★

1. 参加費	0.50
2. 晚餐會費	1.50
3. Ekskurso	2.00
4. 記念寫眞代	0.30
5. 宿泊一泊朝食付	1.00

★ 合 宿 ★

札幌市北三條西三丁目北向中村屋旅館

大會に關する御照會、御送金等は下記宛に願ひます。

なるべく早く参加御申込下さい。

札幌市南四條裏十四丁目

第24回日本エスペラント大會準備委員會
(振替小樽 18763 番)

東京名古屋大阪及びその地 經由参加の方々へ

東京から北海道旅行者の爲に特別の割引があります。

これは通用期間が15日間(但し第15日の午後12時迄に北海道のどこかの驛で乗車し途中無下車で歸京すれば17日間に亘つても有効)で本州は規定の路線(15日以内なら途中下車本州にても可能)を経て北海道へ行かねばならぬが北海道内は同一線路を何回乗つてもどんなに遠くへ行つてもよいといふ便利なものです。それで料金は25圓といふ格安です。(學生教員の割引はしてくれない)。しかも全く同一行動をとる場合には第二人目から20圓にしてくれる。10人が同一行動をとれば $25 + 20 \times 9 = 205$ 圓即ち一人あたり20圓50錢ですむ。(普通に買ふと札幌迄東京から往復で既に21圓70錢かかるのである)。

だから15日間に往復するならこれに限る。(詳細は麴町區丸ノ内の一ジヤパン・ツーリスト・ビューローへ問合せの事。)

猶以上は東京についてであるが名古屋及大阪も之に準じた割引をしてくれる。だから右三都市以外の人々も自分の所から右三都市の何れか迄の切符を買ひあそば之に参加すれば非常に安くゆく。

東京及近郊から大會参加の方々は旅行豫定その他學會原田宛御一報下さい。なるべく連絡をとつて安値且愉快に大會へゆきたいと思ひますから。

大會申込は學會でも受付ます。Kongres-karto もきてゐます。東京の人々は學會内原田宛御申込下さい。

北海道東北^學會特使遣派

地方會との緊密な聯絡とエス運動の情勢視察の爲
全國の特使派遣の要望に答へて札幌大會を機とし

岡本學會書記長を派遣

昨冬久保特使の九州旅行が各地で多大の歡迎をうけて今年も特使を派遣せよとの聲が全國各地で發せられてゐる。昨年は學會にも豫算なく全く久保氏の義俠的申出により同氏が旅費を自ら負擔してこの重任を果して下さつたのであつた。今年は幸ひにエス運動後援會が負擔してくれることになつたので再度久保氏の御出張をお願いしたが御都合悪くお引受けいただけなかつたので札幌大會出席を兼ね岡本學會書記長を派遣することになつた。(6月20日後援會幹事會にて決定)。

札幌大會を前にして北海道各地方會の訪問と大會後の東北地方巡回は必ずや御地方の皆々様の御期待にそひうることと存じます。何分突然の決定故、特使の日程及旅程は同地方の各地方會との打合せの上決定されるが大體その様な道順の豫定。

7月下旬 東京發札幌へ直行。但し途中函館及び小樽に立よる。札幌には一二泊の後旭川、釧路、帯廣、室蘭、苫小牧を訪問の後8月8, 9, 10日札幌大會に出席。

大會終了後直ちに青森より(弘前)、秋田、(横手)、盛岡、仙臺、(福島)、郡山等の諸都市を訪問8月中旬歸京の豫定。(但し東北の方はなるべく短期間にきりあげる豫定)。

訪問各地同志の熱誠なる御支持をお願い致します。

財團
法人日本エスベラント學會

注意 1. 今回の特使派遣も第一回の場合同 各地で普及講演會、講習會、演說會等を開くのが目的でなく(今後そういつたこともやりたいものですが)専らエス運動の第一線に活躍さるる地方會の各位に親しくおあひして運動に關する御意見をおききし併せて學會の從來の方針を開陳し將來の運動の爲御懇談したいためであります。

注意 2. もつとも特使滯在中の一晩を右の運動懇話會とすれば他に時間の餘裕がつく限り地方會の如何なる御希望にもそふ様努力します。

Esperantistoj Vin Atendas

ここへ掲載希望の會合はすべて一般的の公開的會合に限る。(必ず會合する
のでなければ掲載御断り)。變更の都度至急御通知を乞ふ。

東京 ★神田クンシード 毎月曜 18.30-20.30 時。省線水道橋驛東京齒科醫專前愛光舎階上。

★日本エス學會例會 毎水曜 18-20 時 Fabeloj III. 講義。20-21.30 時會話討論等。本郷元町電停横お茶水文化アパート横入。(費無料)。(8月より Rabistoj 講義)。

★ノーヴァ・クンシード 毎木曜 19-21 時四谷新宿二丁目市電京王電車前新宿白十字階下。

★武蔵野クンシード 毎金曜 19 時より吉祥寺驛前食堂朝日庵二階。

★浅草クンシード 毎金曜 19-21 時雷門前明治製菓二階。

★クララ・ロンド 毎土曜 14.30-16 時赤坂區中ノ町 15 井田千枝子。

★アルヂエント・クンシード 19-21 時銀座二丁目明治製菓二階東の隅。

★Luma Kunsido 毎月第二土曜 18-22 時。お茶の水驛西半丁寶亭階上(國民中學會前)。

★Elektro-Esp-Grupo 毎月第二金曜 19 時より銀座明治製菓で。電氣關係者の出席希望。

横濱 ★Verda Jupitero 毎木曜 19 時半より中區住吉町三丁目(横濱劇場横通り)メツセンチャーボーイ事務所階上(費無料)。(電話 3-3943)

札幌 ★札幌エス會 毎週水曜 18 時半南四條西十四丁目相澤方。

小樽 ★小樽エス協會 毎月第一、第三水曜 19.30-22.30 時 永井町二丁目南小樽驛前、福田方。(フランス篇輪講中)

★小樽佛教エス會 毎月7, 14, 21, 28日 19.30-22 時 入舟町量徳寺書院にて(Ezopo 輪講中)

★エス會話會 毎月第二、第四水曜 19.30-21.30 時 稻穂1字街 Olympic 喫茶店。

帯廣 ★學會帶廣支部 毎週金曜 19-21 時 西二條九丁目塚田醫院にて。

旭川 ★旭川エス會 毎金曜 19-21 時一條通七丁目木津醫院にて。

盛岡 ★盛岡エス會 毎水曜 19 時内丸331 井川醫院方。

富山 ★Marda Kunsido 毎火曜 19-21 時。富山市神通町、愛宕小學校左入、渡部隆志方(初等向、無料)。

金澤 ★金澤エス會 中等部例會毎木曜 19-21 時石浦町石川貯蓄銀行。

名古屋 ★名古屋エス會 毎週火曜 19 時より中區鐵砲町二丁目白木氏宅。

★ルーマ・クンシード 毎火曜東新町角サンパウロ喫茶店マヨール氏主宰(會話會)。

◇毎金曜 19.30-22 時名古屋新聞販賣部階上。

京都 ★京都エス聯盟 毎月15日 19 時出町スター食堂。

★Oka Kunsido 毎月8日 19-21 時賀茂大橋東コスモ(市電叡電前)、會費 15-30 錢。

大阪 ★大阪エス會 毎火曜 19-21 時天満六丁目北市民館(但第三火曜は Trapezo で會話會)。

★新星會 毎月20日 19 時より櫻橋農園フルツパーラー二階。

★ババゴ會 毎月第一第三金曜 19-21 時道頓堀辨天座前バザード喫茶店(研究會)。

岸和田 岸和田エス會 第一第三日曜 19 時昭和通西方寺にて會合。

神戸 ★神戸エス協會 毎木曜 19-21 時熊内橋一丁目市電停前、神戸消費組合階上(但第一木曜は元町1トキワ・フルーツ・パーラー階上)。

廣島 ★廣島エス會 毎曜 19 時大手町7の89 高橋謙方。

呉 ★呉エスペラント會 毎土曜 19-21 時北迫町 57/3 矢野泰方。

福岡 ★學會福岡支部 毎月15日 19 時例會、橋口町ナギス屋菓舗階上。

熊本 ★熊本エス會 ◇會話毎月第一第三月曜 19.30-21 時水道町大學堂喫茶店にて。◇毎週木曜日 19-21 時より本莊町熊電俱樂部にて。

大牟田 ★大牟田エス會 毎火曜 20-23 時榮町二植田醫院方。

宮崎 ★宮崎エス會 毎火曜 19 時半より郡司氏宅(Z 讀本輪讀中)。

新版 エス文入 説明 日本風景 風俗エハガキ

原色版寫眞六枚入二組・各高雅な四度刷たたら入
各組十八錢・送料二錢・兩組一揃送料共三十三錢
一時に取まぜ五組以上御注文の際は送料當方負擔
一時に十組以上御注文の際は各組送料とも十六錢

セリオ：サクラ

日光東照宮陽明門
京都清水寺の舞臺
典型的な海岸風景
家庭における食事
南國情緒みかん畑
古典劇能樂の舞臺

セリオ：フジ

濠の水青い弘前城
夏の富士と箱根湖
鹿の森林奈良公園
茶室における主客
少女のまつり雛祭
きん魚のいろいろ

東京財團
本郷法人 日本エスぺラント學會

エスぺラントを學べば國際通信を!!!
エス文説明入風景風俗エハガキで!!!

エスぺラント學習者にとつて最も興味深く最も早い上達の近道は、國際通信である。

これは、今年鐵道省觀光局發行の外國向エハガキと同一寫眞による最高級の原色版印刷であるが、觀光局の好意により低廉な原價により製作するここができたため、驚くべき廉價で提供することとなつた。

しかし部數に限りあり、再版不可能につき至急御注文あれ。

畫面にエスぺラントで寫眞の名稱を記載するとともに裏面にも簡単な説明を美術的に印刷してある。

日本紹介の文通にぜひ御利用あれ!!!

對譯叢書價下

日本エスペラント運動組織三十周年紀念として、エスペラント學習を促進する一助として、「エスペラント對譯叢書」六篇のうち「愛あるところ神あり」を除く他の五篇を價下げして、各篇とも一律に 30 錢にしました。獨習者に特におすすめします。

エスペラント對譯詳註叢書 瀟洒な三五判
65頁乃至90頁 新定價各30錢 送料
2 錢

メリメ原作 マテオ・ファルコネ (短篇小説)
大島義夫譯註

惡漢を裏切つて憲兵の手に渡した愛兒を銃殺するコルシカ島人の燃ゆる正義觀

ベルナル作 代理通譯 (一幕喜劇)
龜山修平譯註

驅落娘を追つてロンドンからパリへ、英語を解せぬ通譯から事件紛糾

椎橋好共著 ハイネ詩集 約四十篇)
城戸崎益敏

革命的情熱と限りなき感傷の詩人ハイネの傑作を諸書から集める

ザイデル原作 魔法使 (短篇小説)
佐々城佑譯註

有名な「爐邊物語」中の一編。魔法使の手に捉へられた少年の奇怪な生活

伊藤徳之助 レイモント短篇集 (二 篇)
松本清彦譯註

傑作「農民」によりノーベル賞を得たポーランドの文豪の傑作

PLENA VORTARO

賣 切 近 し

價下後注文殺到のため在庫僅少。賣切れのばあひ、次回は三ヶ月後でないと入荷いたしません。至急御注文ください。

新定價 4 圓 50 錢・送料 2 錢

Lagörléf: GÖSTA BERLING 3圓80錢・送料21錢

ノーベル賞受賞の現代最高の女流作家の處女作・吹雪と森林と狼と、そして歌はぬ情熱の詩人の戀と泛ふ妖氣。

東京本郷
元町・一

財團法人 日本エスペラント學會

電話小石川 5415 番
振替東京 11325 番

日本エスぺラント運動組織三十周年

LA REVUO ORIENTA 創刊第二百號

紀念圖書大特賣

III

第二回發表分締切：7月31日

在庫品切の際は期間中でも打切

中村博士遺稿集

定價 70 錢・特價 55 錢・送料 4 錢

挿繪多數入りの精しい「算盤」についての記述をはじめ興味深い科學論文、および「漁夫辭」その他の文學作品のエス譯

小坂狷二：スラヴ篇（教科書版）

定價 25 錢
特價 15 錢・送料 2 錢

文藝讀本第一篇の教科書版——書込みの餘白廣い四六版。再製せず

伊井 迂：綠葉集

定價 80 錢・特價 60 錢・送料 4 錢

情熱の詩人の原作詩數十篇と萬葉、古今、その他の和歌、俳句、漢詩、民謡等のエスぺラント譯

Oppenheim: Riĉa kaj sen Mono

定價 3 圓・特價 2 圓 50 錢・送料 10 錢

イギリスの探偵小説界の巨峰オッペンハイムの傑作。極りない場面の變化は、讀みをはるまで本を手から離さない

H. Haefker: Jarmiloj Pasas

特製 上 5 圓・送料 21 錢
下 4 圓 20 錢・送料 21 錢

特價 上 4 圓 20 錢 下 3 圓 60 錢（送料各 21 錢）二冊同時 7 圓・送料 33 錢
エスぺラントで書いたのみでなく世界人の立場から見直した世界文化史

Papini: Historio de Kristo

定價 6 圓 50 錢
特價 5 圓・送料 21 錢

イタリーの文豪パピニの「キリスト傳」。最も敬虔な態度で、しかも狂信者とはおよそ縁遠い觀點に立つた新しい福音書

J. Forge: Saltego trans Jarmiloj

定價 1 圓 65 錢・特價 1 圓 40 錢・送料 8 錢

M. Wagnales: Palaco de Danĝero

定價 2 圓 40 錢・特價 2 圓・送料 6 錢

ルイ十五世の寵姫として國政に容喙し、また豪奢な生活によりフランス財政に四千萬フランの損害を與へたと云はれるポ夫人をめぐる戀愛葛藤

A. Svjentoĥovski: ASPAZIO

定價 1 圓
特價 80 錢・送料 8 錢

ギリシャ第一の政治家として、また武勇けびない英雄として輝くペリクリスと、美貌と才幹とで女性美の典型とされるアスパシアとの戀愛——むしろ戀愛以上の貞潔な友情の悲劇

東京本郷
元町・一

財團
法人

日本エスぺラント學會

電話小石川 5415 番
振替東京 11325 番

エスペラント

七月號

主要記事

ラ・ロシュフコウの《箴言》……………久保義郎

名著鑑賞・十七世紀功利論の始祖の寸鐵人を刺す言葉

最後の戦闘機……………パテ・ナタン 特作映畫

戀愛を超克する僚友の友情。生死を堵ける青空の戦慄

世界で一番高い電信局 ……興味深い初等よみもの

日本一高い驛は東京驛です。さて世界一高い電信局は?

日本とエスペラント……………高木 弘

國際エス運動における日本人の地位と役割を自覺せよ

日常生活（自由作文の講評）……………中垣虎兒郎

手をとるやうに親切的な講評。ぐんぐん作文が上達する

新聞廣告から（和文エス譯の講評）三宅史平

從來の機械的翻譯法を避け、生きた材料で生きた指導

前置詞略解・Ĉirkaŭ……………小坂 狷二

初等、中等の人々のための親切的な講義、毎回練習問題附

補足語（文の組立の研究）……………倉地 治夫

エスペラント作文の基礎知識となる詳細な文章論講義

狼（原作詩）新しく設けた新規軸獨立ページ 佐久間謙二

質疑應答（親切明快）……………岡本好次

一部定價 20 錢・送料 5 厘・舊號見本 10 錢

各地書店にあり・創刊號から取揃えあり

一年分(送料共) 2 圓 30 錢・半年分 1 圓 20 錢

財團法人 日本エスペラント學會

東京本郷元町
振振東京11325番

昭和十一年六月十五日發行
（毎月一回一日發行）
ラ・レゾオ・オリエンタ（エスペラント研究）第十七年第七號

定價廿錢（送料二錢）

編輯印刷
兼發行人

財團法人 日本エスペラント學會
東京市本郷區元町一ノ三
右代大井